



特設ウェブサイト
もご覧ください

地図046-902『標準高等地図』

「教科書発行者行動規範」に則った資料です

文部科学省検定済教科書
高等学校地理歴史科用
46 帝国
地図 046-902

標準高等地図

帝国書院編集部編

見やすく、使いやすい!

地理総合 でフル活用できる **大判地図帳!**



標準高等地図

令和9 (2027) 年度発刊
地図046-902
A4判 202ページ

見やすく、使いやすい!
地理総合で
フル活用できる
大判地図帳!



令和4 (2022) 年度以降版



令和9 (2027) 年度以降版

『標準高等地図』に込めた思い

生徒の興味・関心を喚起し、地理総合の学びを深める地図帳をめざして

著作者代表 兵庫教育大学 名誉教授 原田智仁
帝国書院 編集部

私たちの暮らす世界では、国際情勢の変化や自然災害の深刻化、資源・人口・食料をめぐる課題など、多様で複雑な出来事が同時に進行しています。こうした動向を理解するためには、舞台となる場所の認識や人間と自然、地域相互のつながりなど空間的な視点が欠かせません。地図帳はまさに、そのような視点を育てるための基本となる教科書であり、地理の学習を支える重要な役割を担っています。

本書は、A4判の大判紙面を生かしながら、生徒が世界の諸地域に興味・関心をもち、さまざまな文化を理解し、諸課題への学びを深められるよう工夫を凝らしました。各地域の導入には鳥瞰図と生活文化などに関するイラストを組み合わせ、地域を概観できるページを新設しています。また、地理総合の各学習単元で活用できるよう、主題図ページを大幅に拡充し、さらに、地理的な見方・考え方を働かせながら取り組める問いなど、学習の視座を広げる要素を充実させました。

改訂版「標準高等地図」を手にとった生徒が、世界・日本への理解を深め、現代社会の諸課題を主体的に考え、判断する力を育ててくれることを願っています。

本資料のもくじ

全体構成 4

特色①

生徒に寄り添った 身近で親しみやすい地図帳!

- 地域のイメージが湧いてくる鳥瞰図・イラスト 6
- 国名や国の位置関係が分かりやすい行政区分図 8
- 原寸大** ヨーロッパの鳥瞰図・一般図・行政区分図 10
- 掲載地域が豊富で、まちの様子がとらえやすい都市図 16

特色②

見やすく、時流に合わせた図取りの地図帳!

- 読み取りやすく美しい等高段彩表現の地図 20
- 国際情勢がとらえやすい地図 22

特色③

地理総合の授業で必携の地図帳!

- 地理総合に連動した生活文化・地球的課題の主題図 26
- 原寸大** 生活文化の多様性② 生活と農業 28
- 授業での活用がイメージできる「ポイント」「身近事例」「手がかかり」 30

特色④

災害・防災など実社会でも 必ず役に立つ地図帳!

- 地形や気候など自然現象との関わりで理解できる災害・防災 32
- 防災の知識が深まるハザードマップ 34

地理総合での 地図帳活用例

- <地図ページ>ラテンアメリカの開発の歴史と生活文化、地球環境問題 36
- <主題図ページ①>人口問題 38
- <主題図ページ②>日本の気候と気象災害 40

QRコンテンツ 42

関連教材 46

特色一覧・著作関係者 48

特色①

特色②

特色③

特色④

地図帳活用例

QRコンテンツ

関連教材

全体構成

前半に地図、後半に地理総合

合に準拠した主題図の二部構成

前半：地図ページ

- 世界の地図ページは、鳥瞰図 → 一般図 → 行政区分図の順に配置しています。
- 鳥瞰図で地域のイメージをつかみ、一般図・行政区分図でより詳しい地域の様子をとらえられます。

▼「標準高等地図」の全体構成

項目	ページ	主な内容
地図(世界)	p.1-3	世界の国々
その他	p.4-5	QRコンテンツ、世界の国旗、地図帳の使い方 NEW!
	p.6	地図帳の凡例、もくじ
地図(日本)	p.7-8	北極中心に見る世界 NEW!
	p.9-10	ユーラシア
	p.11-12	東アジアを眺めてみよう NEW!
	p.13-14	東アジア
	p.15-16	中国要部
	p.17-18	台湾、ベキン、シャンハイ、チュー川(珠江)デルタ
	p.19-20	朝鮮半島
	p.21-22	東南アジア・南アジアを眺めてみよう NEW!
	p.23-24	東南アジア
	p.25-26	東南アジア要部
	p.27-28	南アジア
	p.29-30	インド要部 NEW!
	p.31-32	中央アジア・西アジア・北アフリカを眺めてみよう NEW!
	p.33-34	中央アジア・西アジア
	p.35-36	中東要部
	p.37-38	イスラエル・パレスチナ
	p.39-40	アフリカを眺めてみよう NEW!
	p.41-42	アフリカ NEW!
	p.43-44	アフリカの国々 NEW!
	p.45-46	アフリカ北部、アフリカ南部
	p.47-48	ヨーロッパを眺めてみよう NEW!
	p.49-50	ヨーロッパ
	p.51-52	ヨーロッパの国々 NEW!
	p.53-54	ヨーロッパ要部
	p.55-56	EU要部
	p.57-58	ロンドン、ベルリン、パリ、ローマ NEW!
	p.59-60	地中海地方
	p.61-62	イベリア半島、アルプス、スイス
	p.63-64	イタリア・バルカン半島
	p.65-66	イギリス・アイルランド、スカンディナヴィア半島
	p.67-68	ヨーロッパ東部・ロシア要部
	p.69-70	ユーラシア北部
	p.71	極東ロシア・環日本海
	p.72	大西洋
p.73-74	北アメリカ	
p.75-76	北アメリカを眺めてみよう NEW!	
p.77-78	アメリカ合衆国	
p.79-80	アメリカ合衆国東部・南部	
p.81-82	アメリカ合衆国西部	
p.83-84	中央アメリカ	
p.85-86	南アメリカを眺めてみよう NEW!	
p.87-88	南アメリカ	
p.89-90	南アメリカ要部	
p.91-92	環太平洋 NEW!	
p.93-94	オセアニアを眺めてみよう NEW!	

◀p.47-48
▶本資料p.10-11



鳥瞰図
地域の地形や風土をイメージできる地図です。生活文化に関連するイラストと合わせて生徒の興味を高められます。

◀p.49-50
▶本資料p.12-13



一般図
土地の高さで色分けした等高段彩表現の地図です。地名や地形の様子を読み取れます。

◀p.51-52
▶本資料p.14-15



行政区分図
国・地域ごとに色分けした地図です。国名や国の位置関係を確認できます。

※「アジア・ヨーロッパ・北アメリカ」、「アフリカ」、「ヨーロッパ」に設置しています。

NEW! 今回の改訂で新規に作成または大改訂を行ったページ

後半：主題図ページ

- 各見開きは、地理総合の各単元名に対応したテーマで構成しています。
- 使用場面が分かりやすく、各単元の理解を深められます。

◀p.129-130



基礎的主題図
地理学習の基礎となる主題図です。世界の地形や気候区を大きな地図で確認できます。

◀p.141-142
▶本資料p.34-35



地理総合に準拠した主題図
地震・火山、宗教・言語、地球環境問題など、さまざまなテーマを扱っています。テーマごとに世界や日本の様子をとらえられます。



◀p.155-156
▶本資料p.28-29

特色

①

生徒に寄り添った身近で親しみやすい地図帳！

NEW!

▶ 地域のイメージが湧いてくる鳥瞰図・イラスト

- 鳥瞰図とイラストを組み合わせ、地域のイメージが湧いてくるページを、各地域の導入として全8地域に新設しました。
- 地形を立体的に表現した鳥瞰図と、自然・産業・歴史・生活文化(衣食住・慣習・宗教)をテーマにしたイラストで、各地域の特色を生徒が興味をもって学べるようにしています。
- 地理総合の「生活文化の多様性と国際理解」の単元などでご活用いただけます。

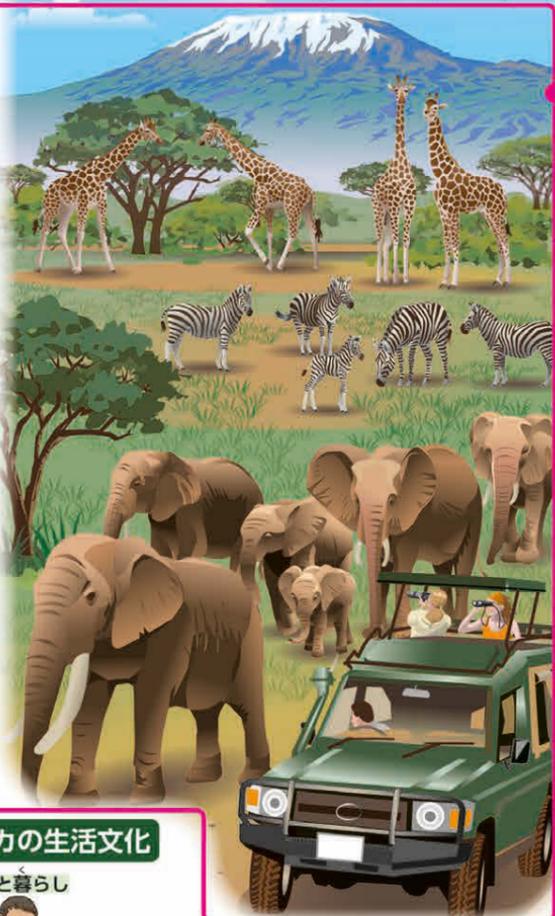
▼ p.39-40「アフリカを眺めてみよう」

39 ① アフリカを眺めてみよう



アンボセリ国立公園のサファリ(ケニア)

天井が開閉する車から、草原地帯に生息する野生動物を観察するサファリが、外国人観光客に人気となっている。



A アフリカの生活文化

1 伝統的な文化と暮らし



ウガリ

アフリカではさまざまな穀物が生産されている。東部や南部では、穀物の粉をお湯で練り上げたウガリが主食となっている。



調理用バナナ

アフリカ東部ではバナナが生産され、葉で包んで蒸すなど、主に加熱調理をして食べられている。



ジャンベのリズムに合わせて踊るダンス

ジャンベは西アフリカで演奏される打楽器。アフリカの音楽や楽器は、娯楽だけでなく儀礼や通信手段など、さまざまな場面で使われてきた。

2 経済発展と最新技術で変わる人々の暮らし

携帯電話を使うマサイ族(ケニア)

アフリカでは、大規模な設備を必要としない携帯電話が急速に普及し、通信に加え送金や決済も行われている。携帯電話は農村地域にも普及している。



高層ビルが並ぶ大都市(アンゴラ、ルアンダ)

近年、アフリカの都市では、大規模なオフィスや近代的な商業施設などの整備が進んでいる。



世界の鳥瞰図「〇〇を眺めてみよう」ページ一覧

ページ	地域
p.11-12	東アジア
p.21-22	東南アジア・南アジア ★
p.31-32	中央アジア・西アジア・北アフリカ ★
p.39-40	アフリカ ★
p.47-48	ヨーロッパ
p.75-76	北アメリカ
p.85-86	南アメリカ ★
p.93-94	オセアニア ★

★は鳥瞰図を新規追加した地域を示しています。

POINT 1
地域を特徴づける迫力のあるイラストを掲載しています。ここでは、アフリカの草原地帯にさまざまな野生動物が見られることがイメージでき、地域への興味・関心を高めます。

POINT 2
鳥瞰図からは、北側に広がる砂漠や東側にあるエチオピア高原など地形の特徴を大きくとらえられます。また、エチオピアのコーヒー豆やボツワナのダイヤモンドなどの農産物や鉱産資源をイラストで視覚的にとらえられます。

POINT 3
経済発展による変化に関するイラストから、地域の「今」をとらえられます。各イラストの内容をコンパクトに説明した文章から、地域の理解を深められます。

本資料p.10-11にヨーロッパの鳥瞰図ページを原寸大で掲載しています。

特色 ①
特色 ②
特色 ③
特色 ④
地図帳活用例
QRコンテンツ
関連教材

特色

①

生徒に寄り添った身近で親しみやすい地図帳！

▶ 国名や国の位置関係が分かりやすい行政区分図

NEW!

- 行政区分図を「アフリカ」など多くの国々で構成される地域に新設しました。
- 掲載する要素を精選して、国名や国の範囲を読み取りやすくしています。
- 地理総合の「結びつく現代世界」の単元などでご利用いただけます。

特色 ①

▼ p.43-44「アフリカの国々」



● 行政区分図のページ一覧

ページ	地域
p.7-8	北極中心に見る世界(アジア・ヨーロッパ・北アメリカ)
p.43-44	アフリカの国々
p.51-52	ヨーロッパの国々

特色 ②

POINT 2

地名解説 ① アデン湾 H-14...地中海とインド洋を結ぶソマリアの海賊による船舶の襲撃がみられ、自衛隊も派遣された。

「地名解説」は、一般図・行政区分図に設置しており、地名について自然・産業・歴史・社会のいずれかの視点から解説しています。図中の場所と合わせて解説を確認することで、その地域の理解をより深められます。

特色 ③

POINT 3

読図 ② 図を見て、それぞれの旧宗主国がどのように広がっていたのかを、コンゴ民主共和国を起点に確認しよう。

「読図」は、一般図・行政区分図・主題図ページに設置しており、地図の読み解きを促す問いを入れています。ここでは、旧宗主国の分布を確認することで、アフリカの歴史的背景を理解するためのきっかけにできます。

特色 ④

POINT 4

鳥瞰図 → 一般図 → 行政区分図

行政区分図は、一般図の次ページに設けています。一般図と同じ縮尺・同じ図取りであるため、見比べやすくなっています。学習の用途に合わせてお使いいただけます。

本資料p.12-15にヨーロッパの一般図・行政区分図を原寸大で掲載しています。

地図帳活用例

QRコンテンツ

関連教材

◀ p.41-42「アフリカ」(一般図、等高段彩表現)



●地図ページの構成



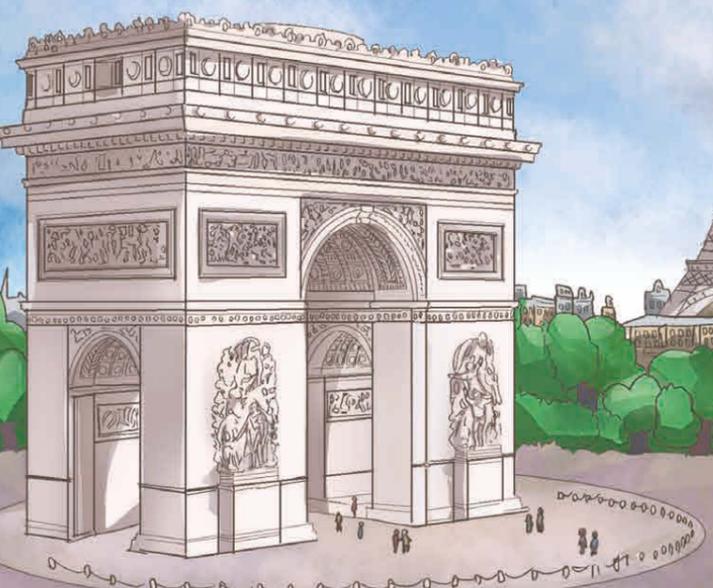
原寸大 NEW!

POINT 1
急峻なアルプス山脈を視覚的にとらえられます。

POINT 2
パエリアと稲作を結びつけることで、農業と結びついた食文化の理解を深められます。

POINT 3
生徒に身近なサッカーから、フランスはアフリカからの移民が多いことを、イメージできます。

A ヨーロッパの生活文化



●パリの象徴である凱旋門とエッフェル塔 (フランス)

1 風土や農業と結びついた食文化

①ピザ (イタリア)
地中海沿岸では小麦や果樹の栽培が盛んで、これらを使ったピザやパスタなどが食べられている。

②パエリア (スペイン)
一部の地域で稲作が行われているスペインでは、魚介類を使った米料理のパエリアが食べられている。

③ポルシチと黒パン
ロシアやウクライナでは冷涼な気候でも育つライ麦を原料とした黒パンが主食の一つ。伝統料理のポルシチなどと一緒に食べられている。

2 国境を越えてつながる文化

④フランスのサッカー代表
フランスには、旧植民地である北アフリカからの移民が多い。サッカー代表にも、アフリカにルーツをもつ選手が多くみられる。

⑤紅茶 (イギリス)
17世紀にイギリス貴族社会で広まった紅茶を飲む文化は、植民地から砂糖や茶が入手できるようになると、大衆にも拡大した。

3 生活に根づくキリスト教の文化

⑥教会前の広場に開かれたクリスマスマーケット (ドイツ)
ヨーロッパでは、キリスト教が人々の生活に根づいており、町の中心には教会がある。クリスマスが近づくと、菓子などを売る店が教会前に立ち並び、家族で祝う。

ヨーロッパ



衛星画像

読図 15

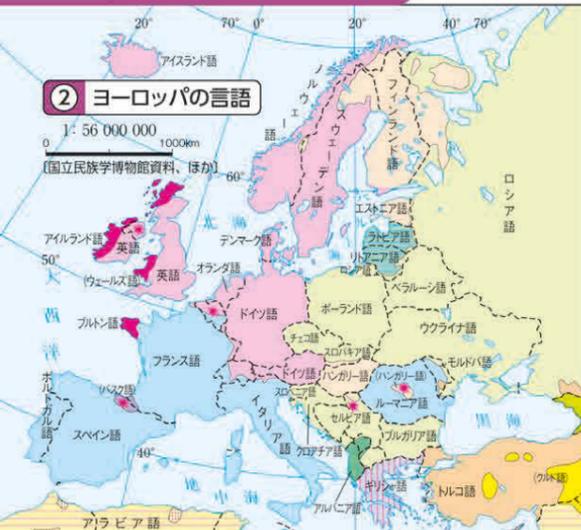
パカンス地として有名なフランス南部のマルセイユとほぼ同じ緯度にある日本の都道府県所在地を答えよう。

●地図ページの構成



原寸大

ヨーロッパ



2 ヨーロッパの言語

0 1: 56 000 000
1000km
(国立民族学博物館資料、ほか)

アイスランド語
ノルウェー語
スウェーデン語
フィンランド語
エストニア語
ラトビア語
リトアニア語
ポーランド語
チェコ語
スロバキア語
ハンガリー語
ドイツ語
オランダ語
ベルギー語
フランス語
イタリア語
スペイン語
ポルトガル語
ギリシャ語
トルコ語
ロシア語
ウクライナ語
モルドバ語
ルーマニア語
セルビア語
クロアチア語
アルバニア語
マケドニア語
ブルガリア語
ギリシャ語
トルコ語
アラビア語
アフリカ語

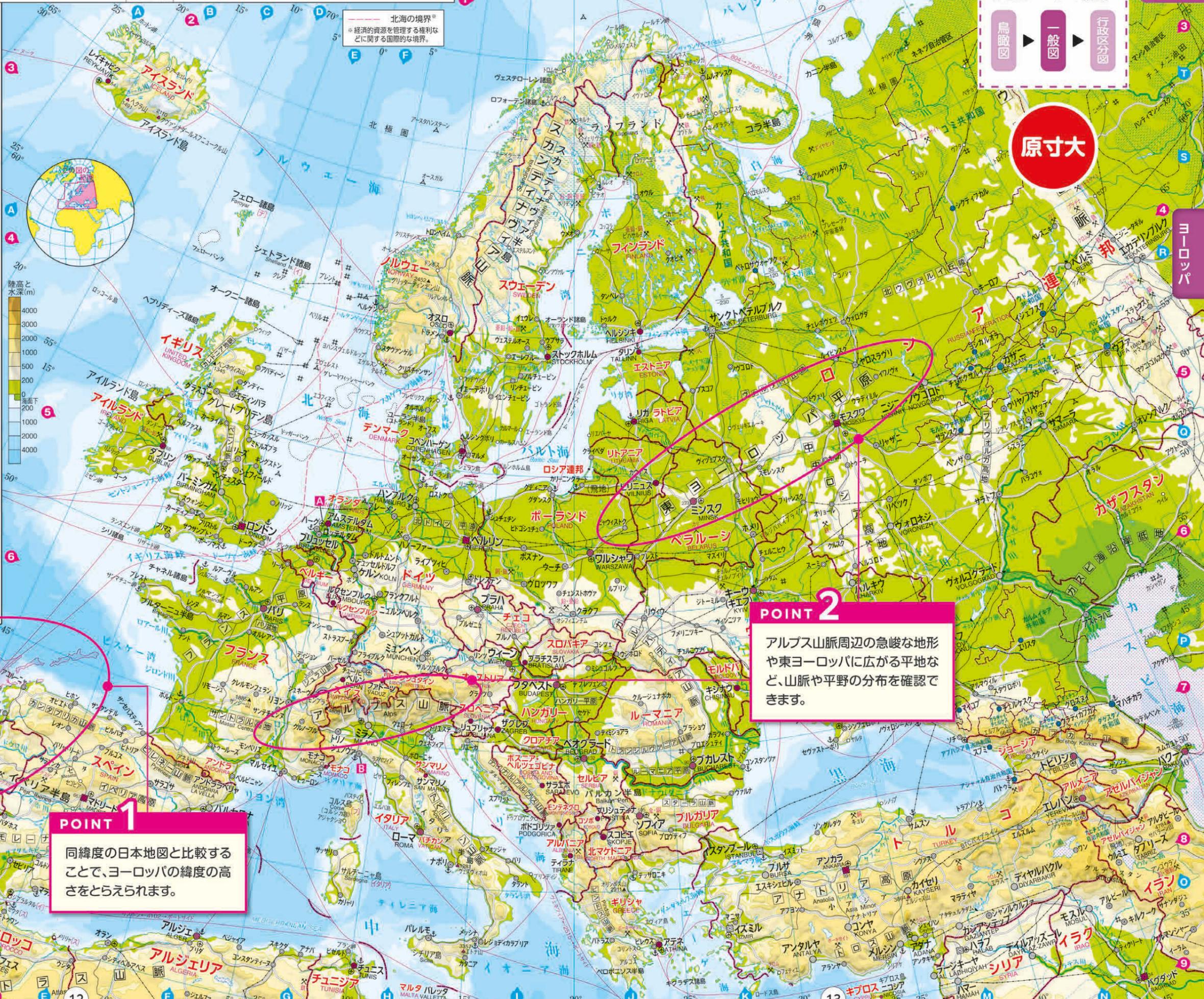
インド・ヨーロッパ語族
ゲルマン語派
ラテン語派
スラブ語派
ケルト語派
バスク語族
バルト語派
ウラル語族
アルタイ語族
アフリカ・アジア語族
セム語派
ヘルベル語派
その他
民族・言語問題をかかえるおもな地域

3 ヨーロッパの宗教



0 1: 56 000 000
1000km
(De Grote Bostattas 2021, ほか)

キリスト教
プロテスタント
カトリック
正教会(ロシア正教)
イスラーム(スンナ派)
シーク教
その他
宗教改革に関連したおもな都市(16世紀)



北海の境界*
*経済的資源を管理する権利などに関する国際的な境界。



POINT 1
同緯度の日本地図と比較することで、ヨーロッパの緯度の高さをとらえられます。

POINT 2
アルプス山脈周辺の急峻な地形や東ヨーロッパに広がる平地など、山脈や平野の分布を確認できます。



同緯度 同緯度の日本

モロッコ
アルジェリア
チュニジア
マルタ



ヨーロッパ

カザフスタン
ウズベキスタン
タジキスタン
トルクメニスタン
ロシア連邦
ベラルーシ
エストニア
ラトビア
リトアニア
ポーランド
スロバキア
ハンガリー
クロアチア
セルビア
モンテネグロ
ボスニア・ヘルツェゴビナ
アルバニア
北マケドニア
ブルガリア
ルーマニア
モルドバ
ウクライナ
オーストリア
ドイツ
フランス
イタリア
スペイン
ポルトガル
ギリシャ
トルコ
アゼルバイジャン
ジョージア
アルメニア
イラン
イラク
シリア
レバノン
イスラエル
ヨルダン
サウジアラビア
カタール
クウェート
オマーン
アラブ首長国連邦
エジプト
リビア
チュニジア
モロッコ
アルジェリア
マルタ



原寸大 NEW!

a 第一次世界大戦前 (1914年)



b 第二次世界大戦前 (1938年)



c 第二次世界大戦後 (1949年)



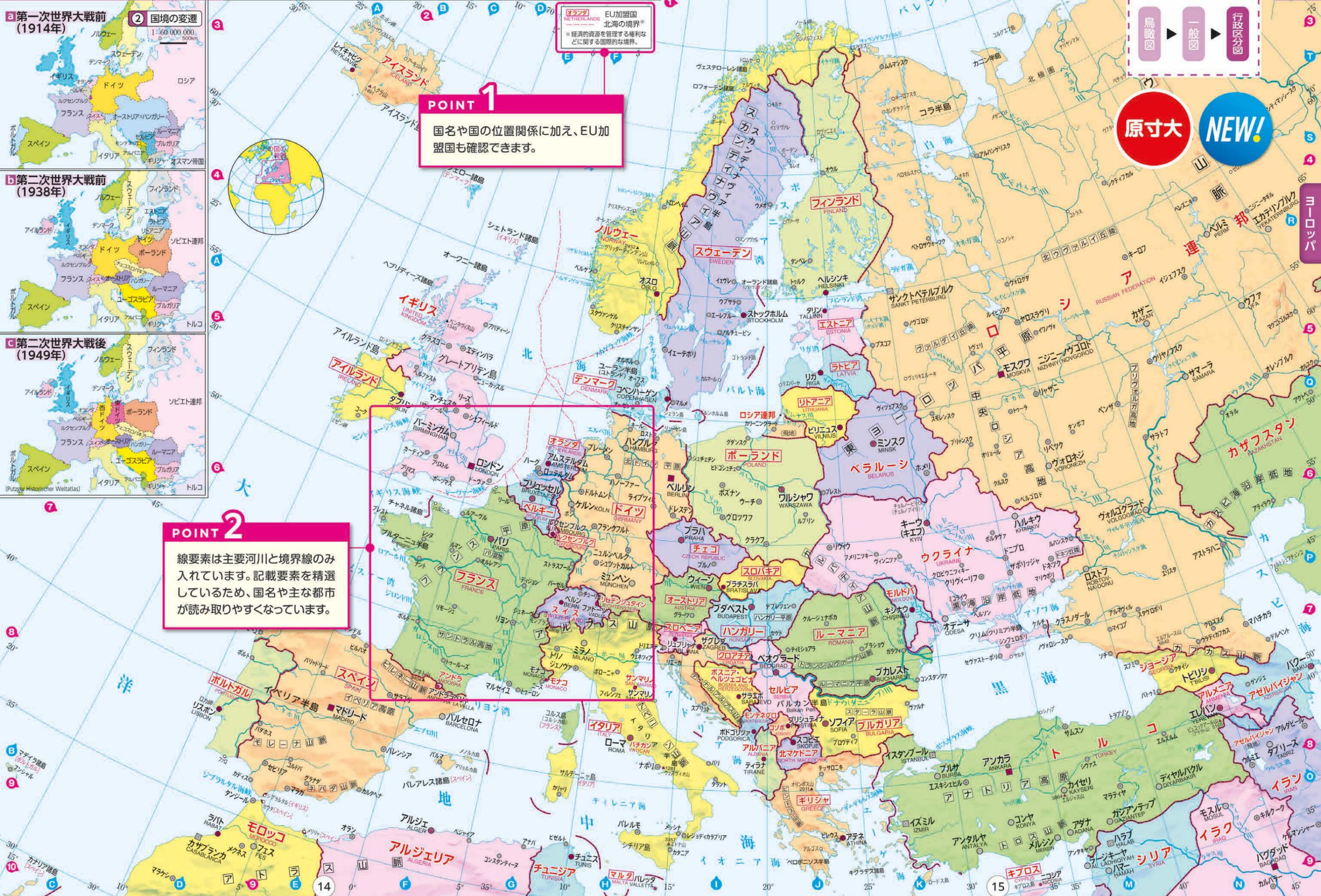
2 国境の変遷

1: 60 000 000



POINT 1
国名や国の位置関係に加え、EU加盟国も確認できます。

POINT 2
線要素は主要河川と境界線のみ入れています。記載要素を精選しているため、国名や主な都市が読み取りやすくなっています。



ヨーロッパ

ロシア連邦

カザフスタン

ウクライナ

トルコ

イラン

イラク

特色

①

生徒に寄り添った身近で親しみやすい地図帳！

▶ 掲載地域が豊富で、まちの様子がとらえやすい都市図

すい地図帳！

すい都市図

- 世界22の都市図を掲載し、地理総合だけでなく歴史総合にも登場する事例地を紹介、さまざまな場面でご利用いただけます。
- 地図上には歴史・文化・経済に関する重要な建物などをイラストで表現することで、まちの様子をイメージし、地域への関心を高められるようにしています。

特色 ①

特色 ②

特色 ③

特色 ④

地図帳活用例

QRコンテンツ

関連教材

▼ p.57-58「ロンドン、ベルリン、パリ、ローマ」

57 ① ロンドン ② ベルリン

a ロンドン首都圏 1:1,900,000

1888~1965年の市界 (Inner London)
大ロンドンの境界
首都圏の外縁

国会議事堂の時計塔と2階建てバス (イギリス、ロンドン)

① ロンドン中心部 1:140,000

官公庁地区 大学・文化地区
業務中心地 公園・緑地
商業地 住宅地
工業・鉄道用地 工業・鉄道用地

ロンドン世界遺産 シティの範囲
世界で最初に始まったもの

③ パリ中心部 1:140,000

官公庁地区 大学・文化地区
業務中心地 公園・緑地
商業地 住宅地
工業・鉄道用地 工業・鉄道用地

パリの中心部

④ ローマ中心部 1:140,000

官公庁地区 大学・文化地区
業務中心地 公園・緑地
商業地 住宅地
工業・鉄道用地 工業・鉄道用地

バチカン市国

b 東西分断下のベルリン (1961~1989年) 1:1,100,000

ベルリンの境界
ベルリンの壁
おもな機関所

ブランデンブルク門 (ドイツ、ベルリン)

② ベルリン中心部 1:140,000

官公庁地区 大学・文化地区
業務中心地 公園・緑地
商業地 住宅地
工業・鉄道用地 工業・鉄道用地

ベルリン世界遺産
東西ドイツ統一後に作られたおもな建造物
ベルリンの壁があったところ

④ ローマ周辺 1:700,000

1700年頃の市街地
現在の市街地
工業・空港用地
農地・森林・その他

バチカン市国

観光客が集まるスペイン広場 (イタリア、ローマ)

世界の都市図一覧

ページ	地域
p.18	①ペキン市中心部、②シャンハイ市中心部、③マカオ中心部、④ホンコン中心部
p.20	②バンムンジョム(板門店)周辺、③ソウル
p.23	②シンガポール
p.30	②デリー
p.38	④エルサレム市
p.57	①ロンドン中心部、②ベルリン中心部
p.58	③パリ中心部、④ローマ中心部
p.59	②イスタンブール、③カイロ周辺
p.78	②ワシントンD.C.
p.80	③ニューヨーク中心部
p.83	②メキシコシティ
p.90	②ブラジリア
p.95	②キャンベラ、③シドニー
p.168	⑥リオデジャネイロ

POINT 1

「バステューユ牢獄跡」などフランス革命の舞台となった地点を地図で確認できます。

POINT 2

ヨーロッパ4都市の縮尺を統一しており、比較しやすくなっています。ここでは、バチカン市国の大きさも確認できます。

POINT 3

「ベルリンの壁」があった場所や、東西ドイツ統一後に作られた建造物を地図で具体的に確認できます。

特色

①

生徒に寄り添った身近で親しみやすい

▶ 掲載地域が豊富で、まちの様子がとらえやすい

すい地図帳!

すい都市図

- 日本の都市図も世界の都市図と同様に豊富に掲載しています。
- 地理総合だけでなく、史跡・名勝と鉄道の位置関係など**まちの様子を一目でとらえられる**ので、修学旅行の事前学習でもご活用いただけます。

特色 ①

特色 ②

特色 ③

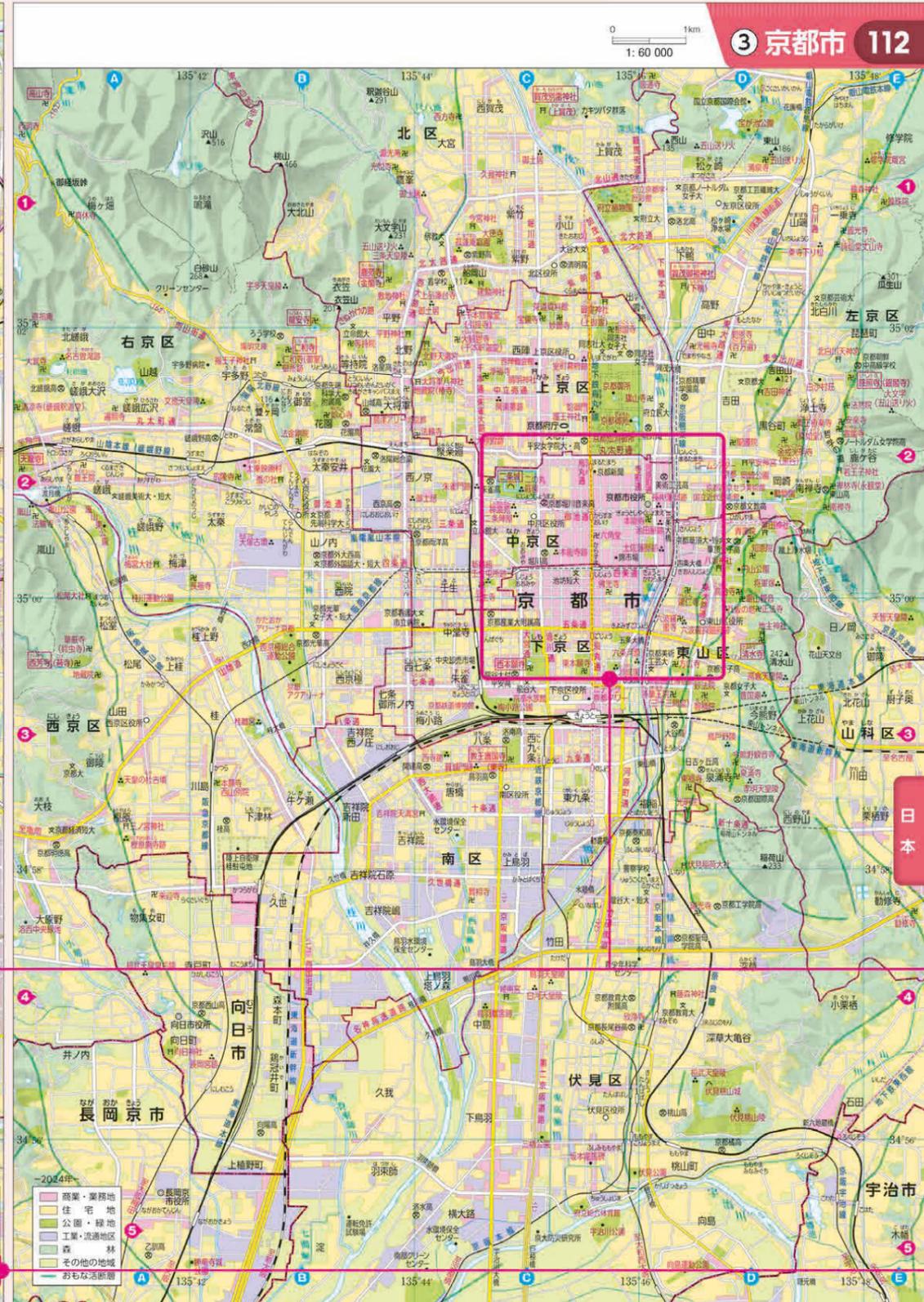
特色 ④

地図帳活用例

QRコンテンツ

関連教材

▼ p.111-112「大阪市、京都市」



●日本の都市図一覧

ページ	地域
p.103	②福岡市中心部
p.105	④広島市中心部
p.107	②神戸市中心部
p.110	②奈良盆地
p.111	①大阪市、②夢洲・舞洲
p.112	③京都市
p.116	②名古屋市
p.121-122	①東京
p.123	①横浜市・川崎市
p.124	②さいたま市、③千葉市
p.125	②仙台市中心部
p.127	①札幌市中心部

POINT 1

大阪市と京都市の2都市を並べて掲載しており、京都市中心部は盆地に、大阪市中心部は海に面した平野に位置するという地形の違いを確認できます。

POINT 2

大阪市と京都市の「商業・業務地」の比較から、商業地が広がる範囲の違いを読み取れます。

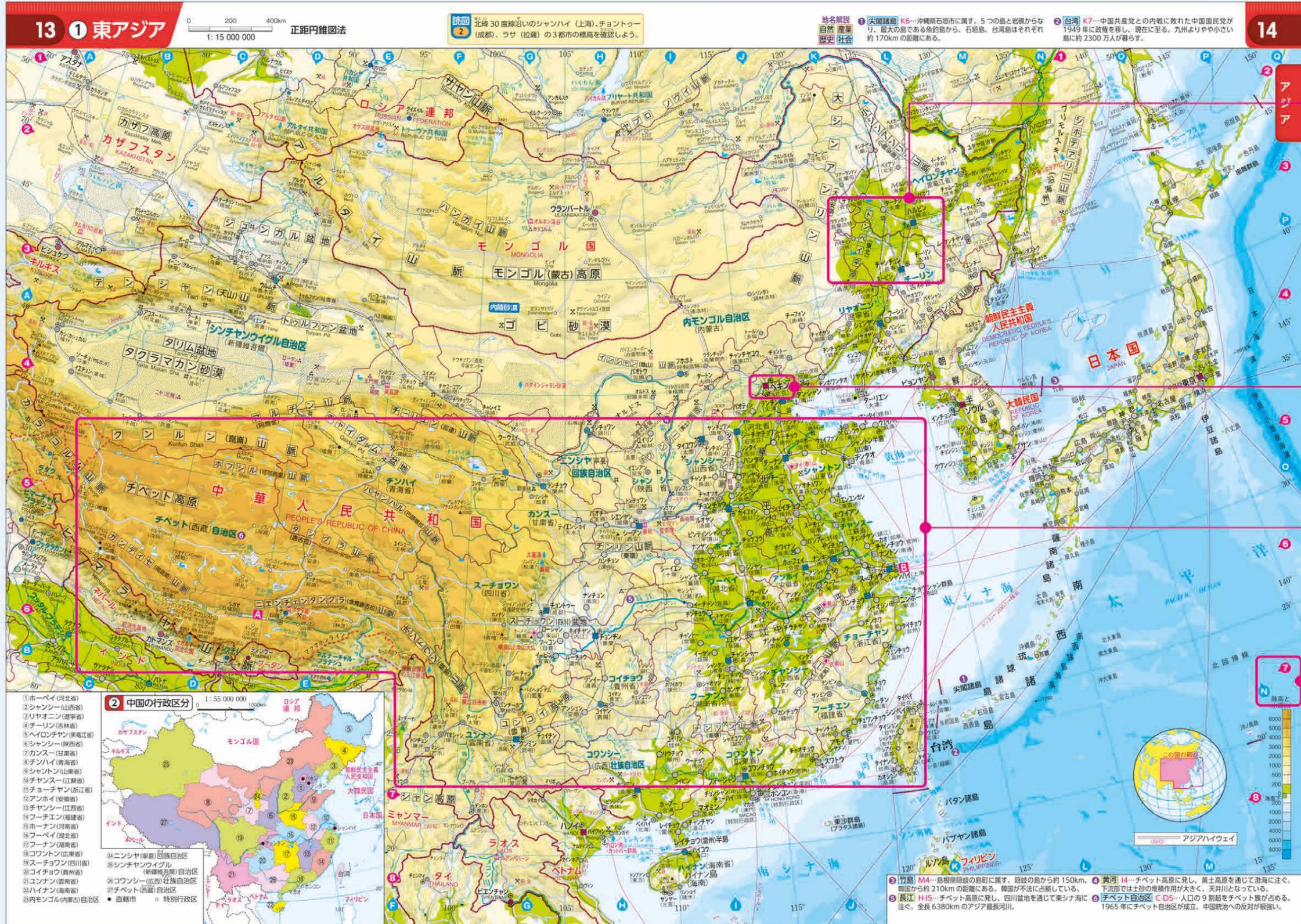
POINT 3

おもな活断層や標高0m地帯を確認でき、防災への意識を高められます。

▶ 読み取りやすく美しい等高段彩表現の地図

- 一般図は、山脈や河川など地形の様子を広くとらえる際の基礎となる地図で、主要地域すべてで用意されています。
- 等高段彩表現（土地の高さによる色分け）と陰影表現により、立体感のある地図表現にしています。小学校・中学校の地図帳でも使用している表現であるため、スムーズに授業でご活用いただけます。

▼ p.13-14「東アジア」



POINT 1

通常の4色インキに、平野部を明るく鮮やかに表現できる「クサ色（黄緑色）」を加えた5色のインキで印刷しています。

POINT 2

要素の重なりで読み取りにくい文字には、白い縁取りを入れるなどして見やすさを向上させています。また、国名と首都名には、ユニバーサルデザインフォントを使用し、読み取りやすくしています。

ペキン
(北京)

POINT 3

美しい等高段彩表現によって、西部にはチベット高原など高地が広がっていることを確認できます。また、そこから流れ出す黄河や長江など河川がつくる低地が東部に向けて広がっている様子を読み取れます。

POINT 4

さくいん記号を大きく、目立つ色に変更することで、「さくいん」から地名を探しやすくしています。

現行版 → 改訂版

本資料p.12-13にヨーロッパの一般図を原寸大で掲載しています。

特色 ①

特色 ②

特色 ③

特色 ④

地図帳活用例

QRコンテンツ

関連教材

特色

②

見やすく、時流に合わせた図取りの地図帳！

▶ 国際情勢がとらえやすい地図

NEW!

- この地図帳では、注目されている地域など、時流に合わせて、さまざまな図取りや図法の地図を取り扱っています。
- この見開きでは、**軍事や経済開発などで話題の多い北極周辺**を扱い、北極中心の正距方位図法（中心からの方位と距離が正しい）で表現した**行政区分図**を掲載しています。

▶p.7-8
「北極中心に見る世界」

7 ① 北極中心に見る世界

0 500 1000km
1: 50 000 000 北極中心
正距方位図法

読図
北緯 30 度～45 度の間と、北緯 45 度～60 度の間に
位置する 300 万人以上の都市 (■) を三つずつ挙げよう。

8

POINT 1

「読図」にも示されているように、緯度が高い場所に位置する大都市はヨーロッパに集中していることが読み取れます。

POINT 2

ロシアとアメリカ合衆国が向い合う位置にあることや、グリーンランドの位置など、国や地域の位置関係をとらえられます。

POINT 3

北極を中心とした同心円状に文字を配置しており、さまざまな角度から眺めやすくなっています。地図をまわして見ると、角度によって見え方が変わり、違ったとらえ方も見えてきます。

地図をまわして、様々な角度から見てみよう。



特色 ①

特色 ②

特色 ③

特色 ④

地図帳活用例

QRコンテンツ

関連教材

見やすく、時流に合わせた図取り

▶ 国際情勢がとらえやすい地図

の地図帳！

- この見開きでは、国際問題の事例地である「イスラエル・パレスチナ」を拡大した地図と、ユダヤ教・キリスト教・イスラームの聖地である「エルサレム旧市街」の鳥瞰図を掲載しています。
- ニュースで取り上げられやすい地名の確認や、宗教の歴史的背景を考える際などに活用いただけます。

▶p.37-38
「イスラエル・パレスチナ」

37 ① イスラエル・パレスチナ

0 30km
1: 1 500 000 正距円錐図法

読図 ① ③図でエルサレムの位置を確認し、③図と④図で旧市街のなかにどのような宗教施設があるか確認しよう。



POINT 1
 イスラエル・パレスチナを大きく載せているので、ガザ地区やヨルダン川西岸地区など、パレスチナ問題に関わる場所を確認しやすくなっています。

POINT 2
 一般図からは、パレスチナ自治区が内陸の丘陵地など住みにくい場所にあることが確認できます。また、主題図からは移動や生活を大きく制限する分離壁が広い範囲にわたっていることがわかります。

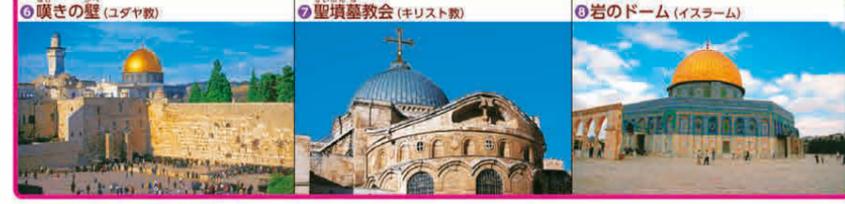
② イスラエルとパレスチナの変遷



③ エルサレム旧市街 —三大宗教の聖地—



POINT 3
 エルサレム旧市街のなかにあるユダヤ教・キリスト教・イスラームの聖地が近接していることを視覚的にとらえられます。



地名解説 自然 産業 歴史 社会

① **ゴラン高原** B1-2...1967年にイスラエルがシリア領の一部を占領し、現在まで実効支配が続いている。

② **エルサレム** B3...街自体が東のパレスチナと西のイスラエルに分かれる。3宗教の聖地である旧市街はパレスチナ側にある。

③ **死海** B3...アフリカ大地溝帯の北端にあり、湖面は海面下400m超、塩分濃度は海水の約10倍である。近年水位低下がみられる。

④ **ガザ** A3...500万人超のアラブ系住民が暮らす。2023年以降、この地区を統治するハマスとイスラエルとの戦闘が再燃している。

⑤ **パレスチナ自治区** A3、B2-3...ヨルダン川西岸地区とガザ地区からなり、アラブ系住民(パレスチナ人)側の自治政府が置かれる。

⑥ **嘆きの壁** ③...古代ユダヤ人王国の神殿の外壁の一部が残る。現地のユダヤ人からは聖の壁とよばれ、祈りの場である。

⑦ **聖墳墓教会** ③...エルサレムの東半分、旧市街内にあり、イエスがはりつけにされたゴルゴタの丘があった場所に建つ。

⑧ **岩のドーム** ③...イスラームの聖地。聖なる岩からムハンマドが昇天したとされ、ドーム屋根をもつ建造物が岩を覆うように建つ。



特色 ①

特色 ②

特色 ③

特色 ④

地図帳活用例

QRコンテンツ

関連教材

地理総合の授業で必携の地図帳!

▶ 地理総合に連動した生活文化・地球的課題の主題図



● 主題図ページは現行版の34ページから48ページと大幅に拡充し、地理総合の各単元名に対応した見開きを用意しました。写真を豊富に掲載し、生徒の興味・関心を引くビジュアルな紙面にしています。

● 「生活文化」・「地球的課題」単元のページは、A:世界の概論→B:世界の具体事例→C:日本の事例の流れを基本構成としており、各単元で学びを深めていくことができます。

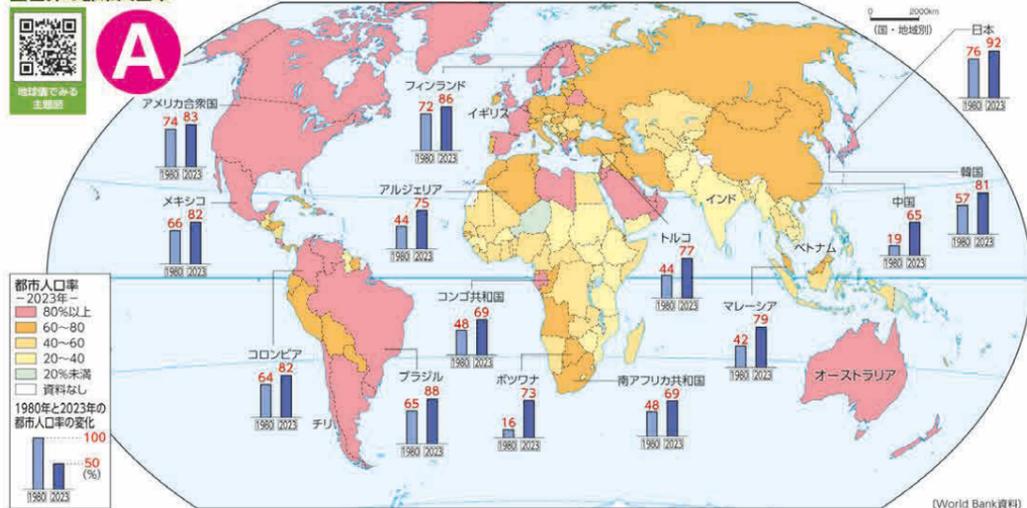
▼ p.167-168 「地球的課題④ 都市・居住問題」

167 地球的課題④ 都市・居住問題

A 都市の人口集中

世界では都市への人口集中が進んでいる。人口集中により、先進国では住宅価格の高騰、インナーシティでみられる建物の老朽化やコミュニティの崩壊、途上国では公共交通機関の未整備による慢性的な渋滞やスラムの形成などの課題がある。

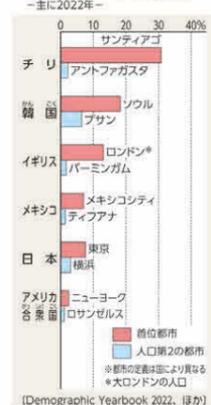
1 世界の都市人口率



2 世界の人口密度



3 国家人口に占める主な都市の人口割合



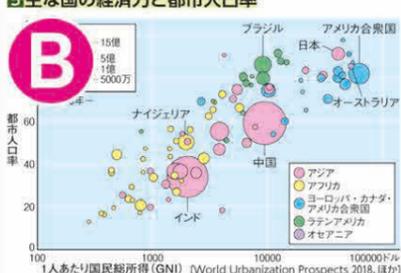
4 都市が抱えるさまざまな課題



B ブラジルの都市問題

ラテンアメリカは都市人口率の高い地域である。ブラジルの都市部では、住宅地に向かない条件の悪い土地にまで人が住み、多くのファベラ (スラム) ができている。

1 主要国の経済力と都市人口率



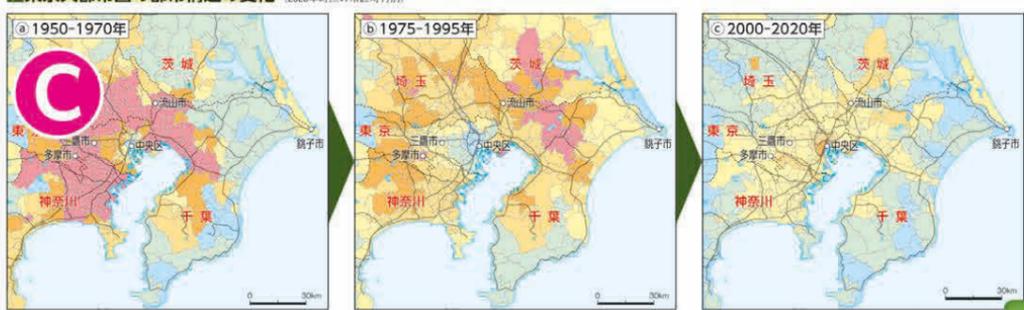
2 リオデジャネイロの都市のようす



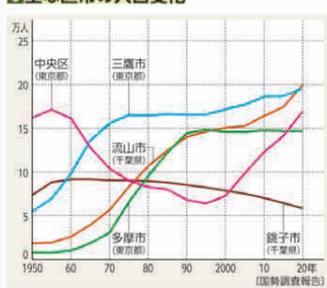
C 日本の都市問題

都市部のなかをよく見ると、時代によって人口が増減する地域は変化している。高度経済成長期には職住分離型の郊外ニュータウンの開発が進んだ一方、都心に近い地域では2000年代以降に職住近接型の宅地開発が進んでいる。

1 東京大都市圏の都市構造の変化



2 主要区市の人口変化



③ 1950年から2020年にかけて、④図で取り上げた五つの区市の人口はどのように変化したか、理由と合わせて考えよう。

手がかり 都市部でも地方でも増加する空き家 全国的な人口減少に伴い、日本各地で空き家が増加している。空き家を放置すると、景観の悪化や倒壊の危険などのリスクがあるため、解体や売却を支援する制度や活用成功例を広める施策などが求められる。

⑤ 空き家だった古民家を再生した複合施設 (福岡県)

POINT 1

左ページの「A:世界の概論」には、テーマの基礎となる主題図を掲載しています。図1からは、都市に人口が集中していることが読み取れ、「都市・居住問題」の背景を理解できます。

POINT 2

右ページの「B:世界の具体事例」と「C:日本の事例」ではテーマを深掘りできる具体的な事例を取り上げています。ここでは、メインの地図に写真やグラフを組み合わせることで、リオデジャネイロと東京大都市圏が抱える都市問題を具体的に理解できます。

「生活文化」単元の具体事例一覧

ページ	ページタイトル	具体事例
p.153-154	衣食住	特色ある料理、住居など
p.155-156	生活と農業	地域で異なるヨーロッパの農業
p.157-158	生活と工業	自動車と技術革新
p.159-160	宗教・言語	キリスト教やイスラームなど主な宗教の特徴

「地球的課題」単元の具体事例一覧

ページ	ページタイトル	具体事例
p.161-162	地球的課題の解決に向けて	教育の格差、水・衛生問題など
p.163-164	人口問題	アフリカの人口問題
p.165-166	食料問題	食肉増加と穀物不足
p.167-168	都市・居住問題	ブラジルの都市問題
p.169-170	資源・エネルギー問題	世界のエネルギー消費と発電
p.171-172	地球環境問題	地球温暖化の問題

本資料p.28-29に主題図ページ(生活と農業)を原寸大で掲載しています。

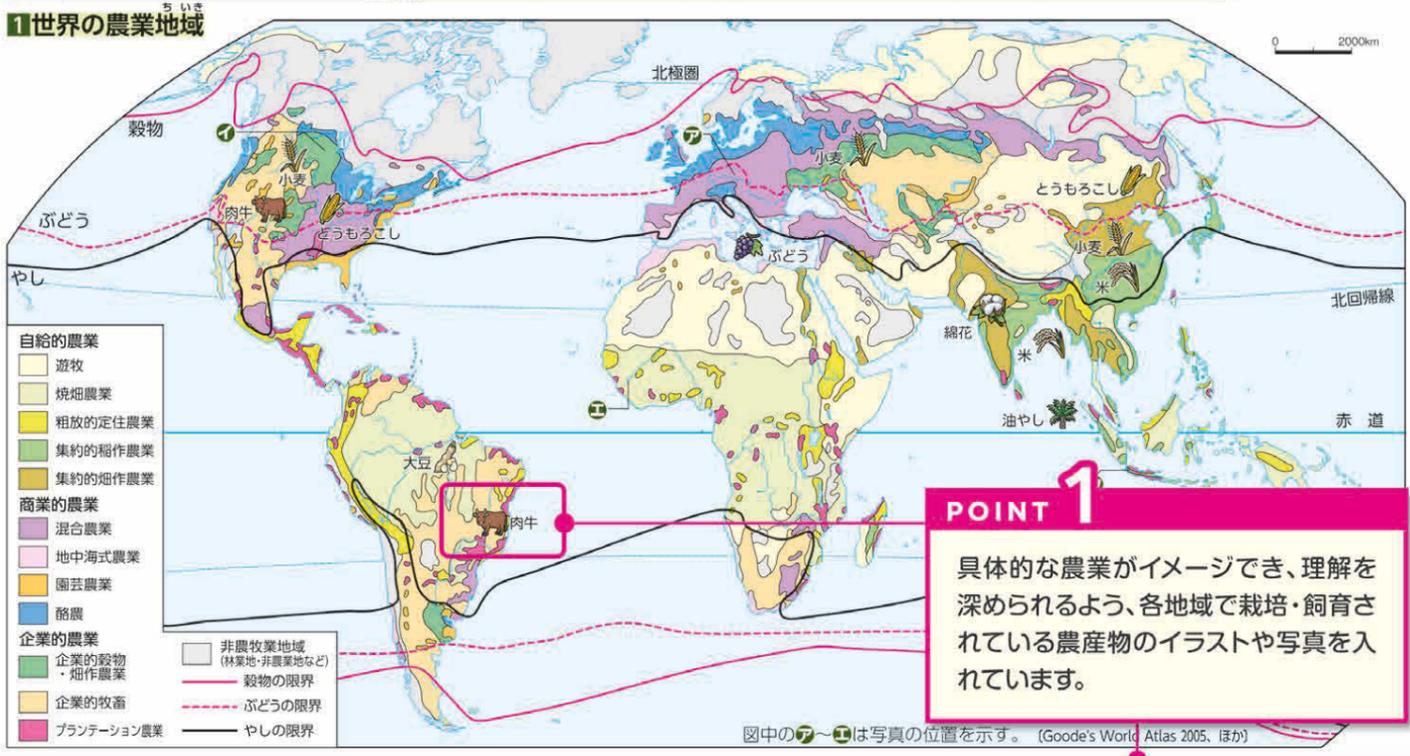
特色①
特色②
特色③
特色④
地図帳活用例
QRコンテンツ
関連教材



テーマ別
リンク集

A 多様な世界の農業

ポイント 農業は、栽培地の気温や降水量などの自然条件から強い影響を受ける。また、灌漑や品種改良などの工夫によって、栽培が可能になった地域がみられるようになった。

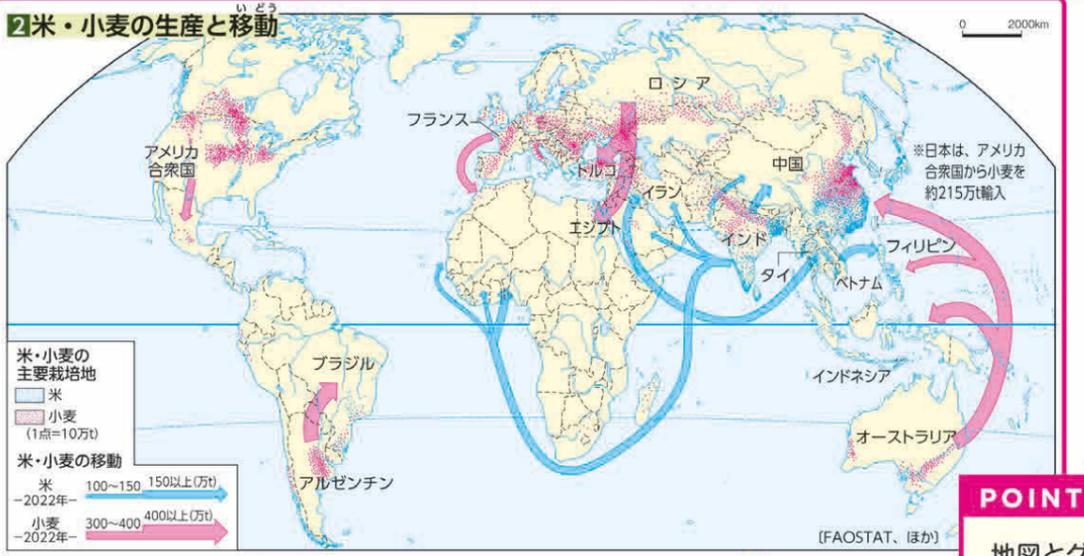


POINT 1
具体的な農業がイメージでき、理解を深められるよう、各地域で栽培・飼育されている農産物のイラストや写真を入れています。

図中の①～④は写真の位置を示す。(Goode's World Atlas 2005, ほか)



①混合農業 (ドイツ) 食料用作物と飼料用作物の栽培に、家畜の飼育を組み合わせた農業。
 ②企業的穀物・畑作農業 (アメリカ合衆国) トラクターなどの機械を使い、大規模な農地で穀物などを栽培する農業。
 ③集約的稲作農業 (インドネシア) 季節風 (モンスーン) による降水を利用した稲作が行われている。
 ④焼畑農業 (ギニア) 植物を焼いた灰を肥料として利用する農業で、熱帯地域を中心に行われている。



手がかり ウクライナ侵攻の影響
ロシアによるウクライナ侵攻により、2022年時のウクライナの小麦の輸出量は減少した。そのため、ウクライナから小麦を多く輸入していた国々では、小麦やパンの価格が高騰した。主食となる作物を輸入に頼る国では、食料需給の安定化に課題がある。



POINT 2
地図とグラフを組み合わせることで、タイとベトナムは米の生産量だけでなく輸出量も多いことが読み取れます。東南アジアの生活文化の学習などでご活用いただけます。

③米・小麦の生産国と輸出国

米 -2022年- 生産国 7億7646万t	中国 26.9%	インド 25.3%	インドネシア 7.4%	ベトナム 7.1%	その他 23.4%
輸出国 5561万t	インド 39.7%	タイ 13.8%	ベトナム 9.8%	アメリカ合衆国 8.2%	その他 20.8%

小麦 -2022年- 生産国 8億844万t	中国 17.0%	インド 13.3%	ロシア 12.9%	アメリカ合衆国 10.8%	フランス 9.9%
輸出国 1億8668万t	フランス 15.4%	アメリカ合衆国 11.2%	ロシア 10.8%	カナダ 9.9%	アルゼンチン 9.9%

B 地域で異なるヨーロッパの農業

ポイント ヨーロッパでは、地域ごとに異なる自然環境に対応した農業が行われており、そこで栽培される作物を生かした食文化が各地で発達している。



POINT 3
ヨーロッパの多様な農業と食文化を結びつけられるよう、地図に写真を添えています。酪農地域では、牛乳をチーズに加工する食文化が育まれてきたことなどがわかります。

⑤ヨーロッパの特色ある農業

①酪農 (アイルランド) ヨーロッパ北部の酪農栽培が適していない地域では、牧草を栽培して乳牛を飼育する酪農が盛んである。

②チューリップの栽培 (オランダ) オランダなどの大都市近郊では、野菜や果実、花卉などを栽培する園芸農業が盛んである。

③オリーブの収穫 (イタリア) 地中海沿岸では、夏の乾燥に強いオリーブやぶどうなどの栽培が行われている。

読図 67 小麦、ぶどう、オリーブのうち、より北の地域で栽培されている作物はどれだろう。

C 特色ある日本の農業

ポイント 日本では、地域によって自然環境や食文化が異なるため、農産物の産地の特徴は多様である。

⑥米の生産

米の生産量 -2023年-
70万t以上
50万t
30万t
(生産量が30万t以上の都道府県。赤字は作付面積が1位の品種。都道府県別の水田率 -2023年- 80%以上, 80%未満)

⑦土地利用と主な農産物の産地

田, 畑, 果樹園, 高原野菜づくりやハウス栽培の盛んなところ, 全国で生産が上位のもの (主に2023年-)

⑧日本の主な農産物の生産量の変化

1970-2022年 (令和4年度 食料需給表)

野菜, 米, 牛乳・乳製品, 果実, 肉類

生活文化

NEW!

原寸大

授業での活用がイメージできる「ポイント」「身近事例」「手がかり」



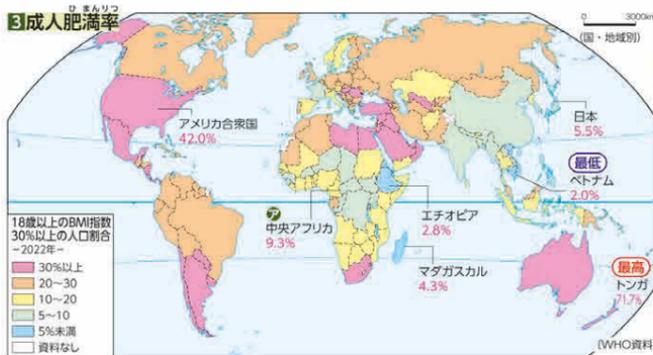
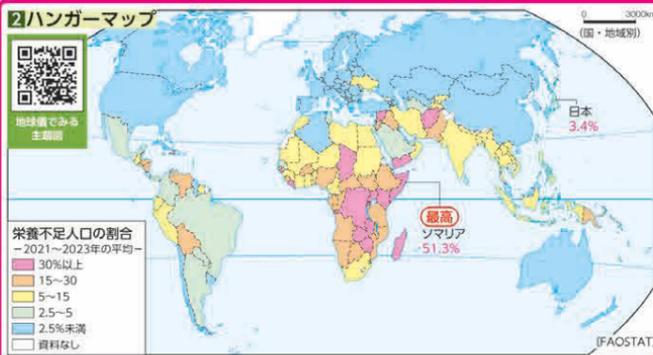
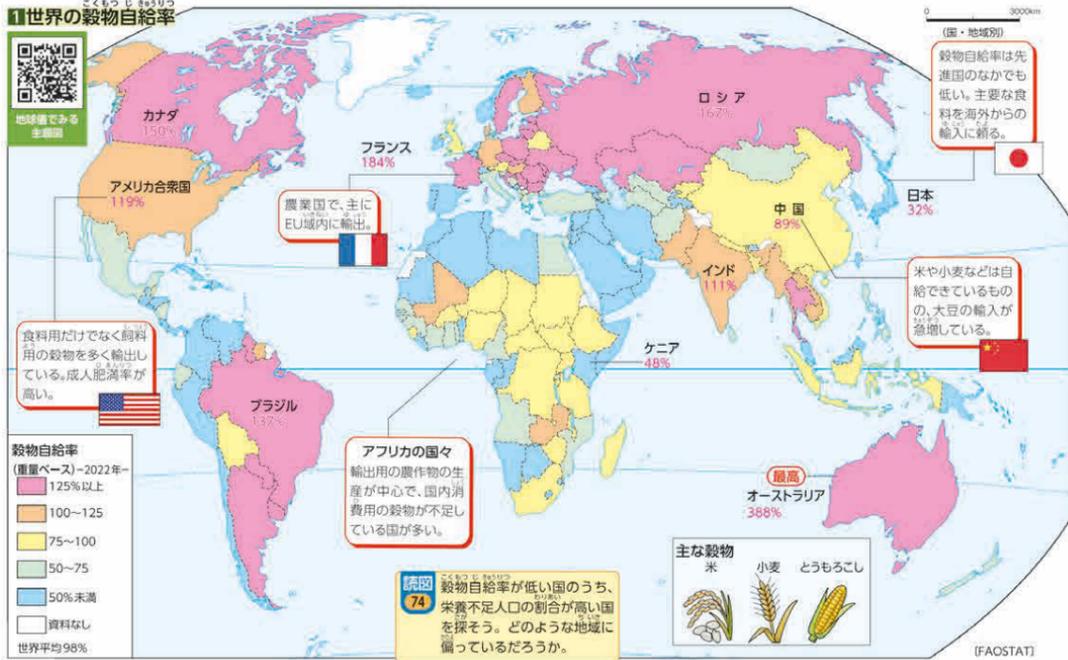
- 地理総合の「防災」「生活文化」「地球的課題」「地図と地理情報システム」単元などに対応した各主題図ページには、地図の読み取りをサポートする「ポイント」「身近事例」「手がかり」を新設しました。
- 地図を読み解く力を養う問いである「読図」も拡充しています。

p.165-166「地球的課題③ 食料問題」

165 地球的課題③ 食料問題

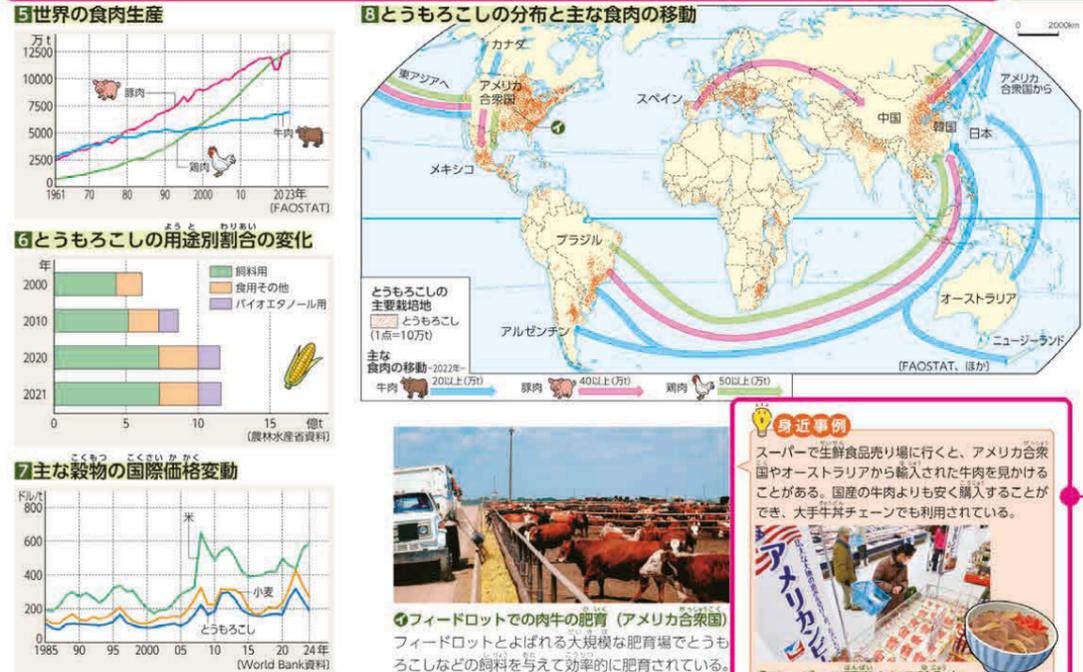
A 世界の食料問題

主食は地域により異なるが、主食となる穀物を自給できる国とできない国があり、自給できない発展途上国の中には食料不足に悩む人々も生じている。また、ファストフードなどに偏った食生活により肥満に悩む国もある。



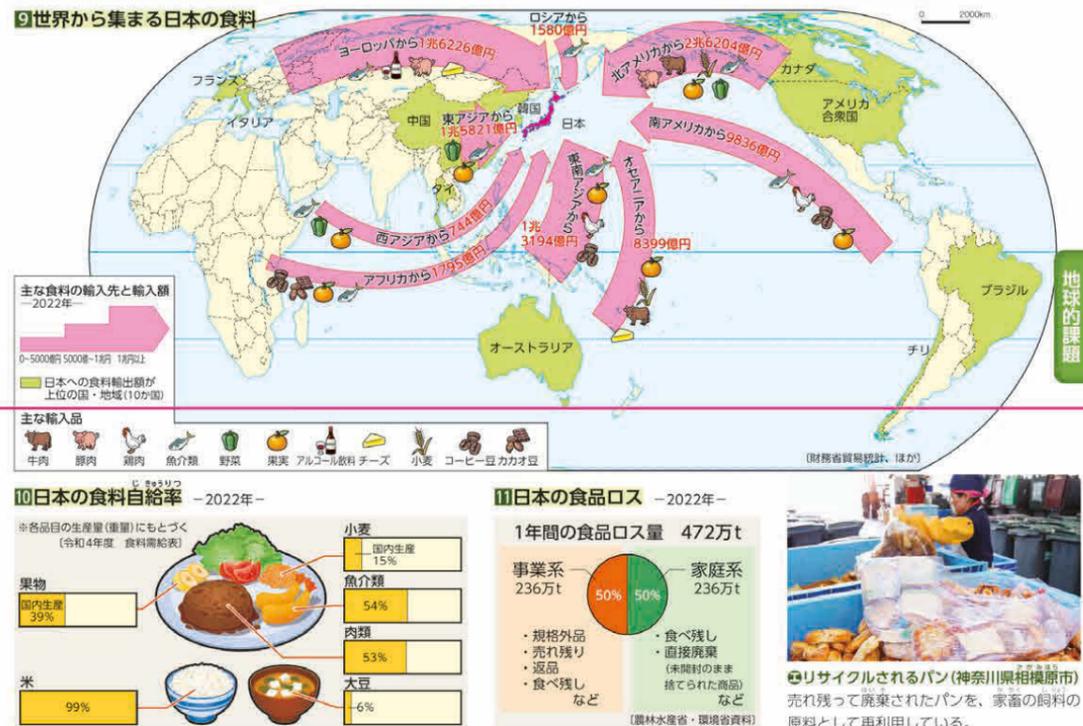
B 食肉増加と穀物不足

世界的な食肉消費の増加で、飼料となるとうもろこしの生産が増加している。また、世界の穀物価格は不安定かつ上昇傾向にあり、穀物を輸入に依存する国では国の財政負担や人々の社会不安につながる。



C 日本の食料問題

日本は先進国のなかでも食料自給率が低く、国際価格の変動などにより食料の安定供給に影響が出ることが心配される。また、大量の食料が廃棄される食品ロスが多いことも課題となっている。



POINT 1

テーマごとに地図やグラフからどのようなことが読み取れるのかを示した「ポイント」を新設しました。ここでは、食肉消費の増加が、穀物価格の上昇および人々の社会不安につながっていることが読み取れることを示しています。

POINT 2

世界で起きていることが、生徒の身近な生活につながっているという事例を紹介するコーナーを新設しました。ここでは、日本でも外国産の牛肉が身近にあることを気づかせ、課題を自分ごととしてとらえられるようにしています。

POINT 3

地図やグラフを読み取る際の手がかりを示すコーナーを新設しました。ここでは、図4から地域によって穀物の過不足の状況が異なることが読み取れます。さらに図2から読み取れる、栄養不足人口がアフリカに多いことと関連づけて考えることができ、地図を読み取る視点としてもご活用いただけます。

特色 ①

特色 ②

特色 ③

特色 ④

地図帳活用例

QRコンテンツ

関連教材

▶ 地形や気候など自然現象との関わりで理解できる災害・防災

- 地理総合の「自然災害と防災」単元に対応したページを、現行版の2ページから8ページに拡充しました。
● 日本の地形・気候の特徴と災害発生のメカニズムがわかるページと、災害への備えを学ぶページの2段階で構成しており、防災への理解を深められます。

▼ p.139-140「自然環境と防災① 日本の地形と地震・火山」

139 自然環境と防災① 日本の地形と地震・火山

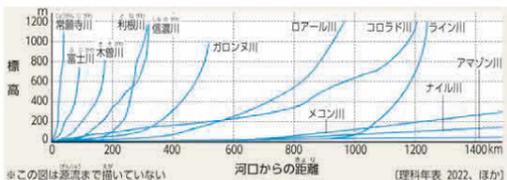
A 日本の地形の特徴

日本は山がちな地形で、海から山までの勾配が急という特徴がある。また、国土の面積に占める割合の少ない低地や台地などの平野に多くの人が生活している。



日本の山岳リゾート地(長野県松本市)
日本の山岳地域には、水や空気が澄んだ、豊かな自然環境が広がっている。

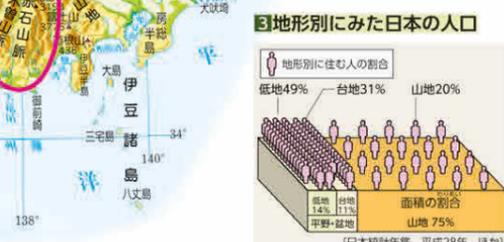
日本と外国の河川勾配の違い



身近事例
日本の水は、河川が急流で岩石とぶれる時間が短いため、ミネラルが少ない軟水になりやすい。硬水よりも口当たりがやわらかい。



地形



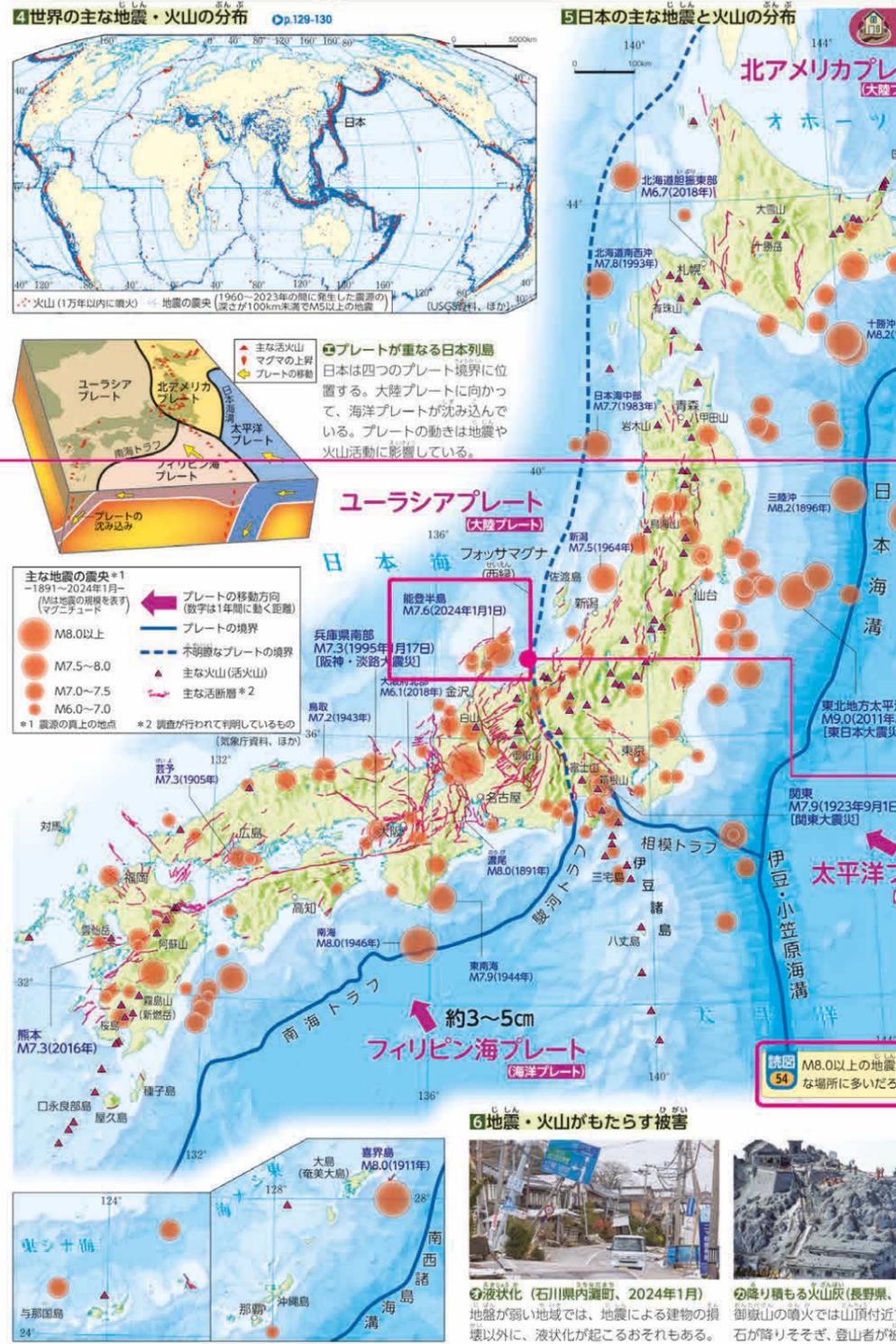
B 火山とその恵み

火山は噴火による災害をもたらすが、さまざまな恵みももたらしている。



C 日本の地震・火山災害

日本は世界の中でも地震が多く、火山活動も活発な所となっている。特に地震は、プレートや活断層の動きによって引き起こされ、日本のあらゆる場所で発生している。



140

「自然災害と防災」単元ページ一覧

Table with 2 columns: ページ (Page) and タイトル (Title). Lists pages 139-140 to 145-146 and their corresponding titles.

POINT 1
日本列島が見渡せる大きな地図を同縮尺で設置しています。図1と図5を比較することで、標高3000m級の山々がプレートの境界付近にあることが読み取れます。

POINT 2
2024年1月に発生した能登半島地震をはじめ、近年発生した大規模な災害の位置を確認できます。

POINT 3
読図にも示されているように、M8.0以上の地震は、日本海溝と南海トラフ付近の沿岸部や、内陸部の活断層が集中している地域に多いことが読み取れます。このように、災害発生のメカニズムを学習する際にご活用いただけます。

特色 ①
特色 ②
特色 ③
特色 ④
地図帳活用例
QRコンテンツ
関連教材

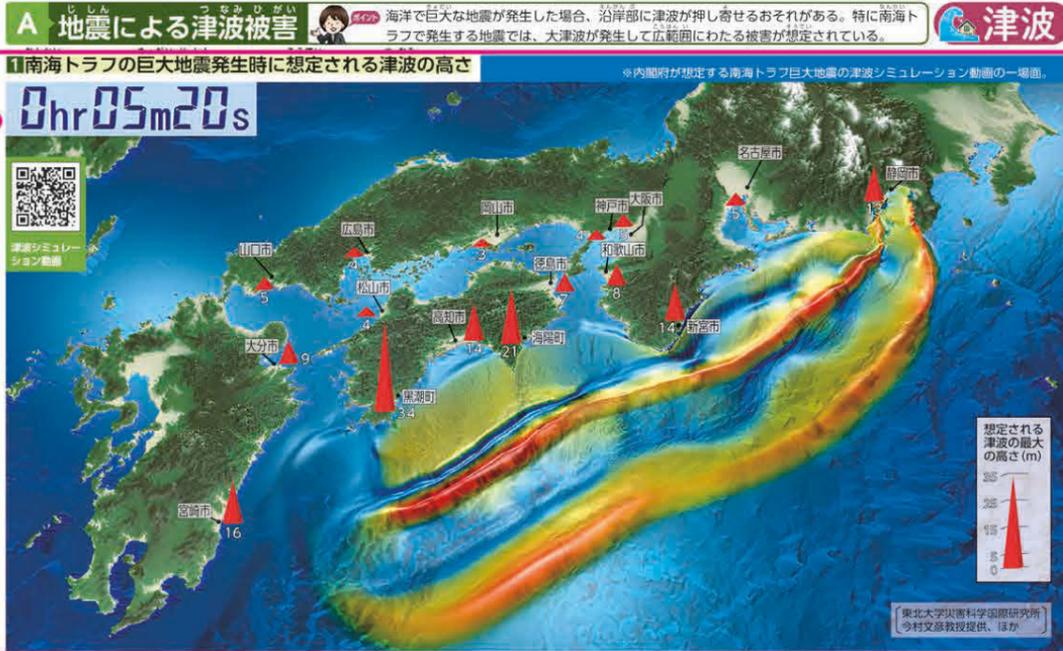
災害・防災など実社会でも必ず役に立つ地図帳！

▶ 防災の知識が深まるハザードマップ NEW!

- 災害を予測する地図や、災害への注意を促すハザードマップを掲載しており、**自然災害に備えることの大切さ**を学べるようにしています。
- この見開きでは、津波への備えとして、大きな災害となる可能性がある南海トラフで発生する地震を中心に取り上げています。

▼ p.141-142「自然環境と防災② 津波への備え」

141 自然環境と防災② 津波への備え



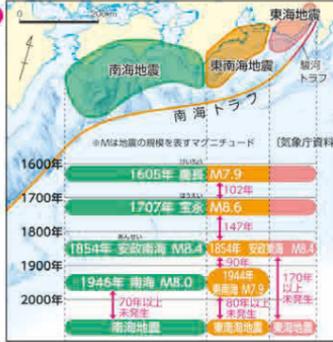
POINT 1

南海トラフで発生する地震によって、広範囲に津波が発生することを視覚的に理解できます。QRコンテンツに収録のシミュレーション動画では、被害が広がる様子を経過時間で把握でき、防災意識を高められます。

POINT 2

繰り返し発生する災害とともに、先人たちが残した碑などを紹介しており、災害の記憶を風化させることなく伝承していくことの大切さがわかります。

2 南海トラフ沿いの過去の巨大地震



手がかり 南海トラフとは？

静岡県の駿河湾から、宮崎県の日向灘沖まで続く沈み込み帯の地形を「南海トラフ」とよぶ。南海トラフでは、これまでに巨大地震と大津波が発生しており、政府の予測では最大34mの津波が沿岸に到達するとされている。

昭和南海地震の被害 (1946年、和歌山県新宮市)

C 日本海側や海外の津波



⑤ 能登半島地震の津波 (石川県珠洲市)

2024年1月1日付北陸新聞特別号掲載

日本海側の津波は、沿岸部に達するまでの時間が短いとされている。能登半島地震では、石川県珠洲市に高さ3m以上の津波が推定1分まで到達した。

⑥ 南米のチリで発生した巨大地震の津波伝播 (1960年5月)

（東北大学資料をもとに作成）

地震発生後の22時間後に、日本列島に津波が到達した。三陸海岸で8mを超え、被害は北海道から沖縄に至る太平洋岸のほぼ全域に及んだ。

142 高知県黒潮町の防災対策



4 災害から命を守る「避難予定経路図」(部分)



特色 ①

特色 ②

特色 ③

特色 ④

地図帳活用例

QRコンテンツ

関連教材

地理総合での地図ページ活用 例

- ▶ ① <生活文化>ラテンアメリカの開発の歴史と生活文化
- ▶ ② <地球的課題>地球環境問題

① <生活文化>ラテンアメリカの開発の歴史と生活文化

教科書本文の例 先住民の伝統を受け継いだ生活文化

エクアドルやペルー、ボリビアなどのアンデス諸国に暮らす先住民は、その多くが先住民の伝統を受け継いだ生活文化など、昔ながらの生活を守っている。アンデスの高地は高山気候の特徴をもち、気温の日較差が20～30℃と大きく、夜は0℃近くまで冷え込むことがある。

② <地球的課題>地球環境問題

教科書本文の例 熱帯林の減少

南米のアマゾン川流域では1970年ごろの横断道路の開通をきっかけにアマゾンへの移住が進められた。木材の切り出しを目的とした熱帯林の破壊が急速に進み、その跡地で農牧地の開墾のためのさらなる森林伐採が行われている。

POINT 1

地図から、アンデス諸国の位置関係や、太平洋側はアンデス山脈がはしり高地であることなど、地形の特徴をとらえられます。さらに、都市標高から、富士山(3,776m)よりも高い場所にボリビアの首都ラパスが位置していることがわかり、高地に多くの人々が暮らしていることをイメージできます。

▲一部拡大



POINT 2

アマゾン川は東西に流れ、広い流域をもつことを確認できます。内陸部でも標高が低く、その中にマナオスのような大都市が位置していることがわかります。

POINT 3

トランスアマゾニアンハイウェイをたどることで、横断道路がアマゾン川支流の都市を結びつけ、人の行き来を促していることがわかります。

POINT 4

ブラジル高原やトランスアマゾニアンハイウェイ周辺の土地利用から、熱帯林の中の随所に畑作地が見られ、熱帯林の開発が進んでいることがわかります。

◀p.89-90
「南アメリカ要部」

特色①
特色②
特色③
特色④
地図帳活用例
QRコンテンツ
関連教材

＜地球的課題＞人口問題

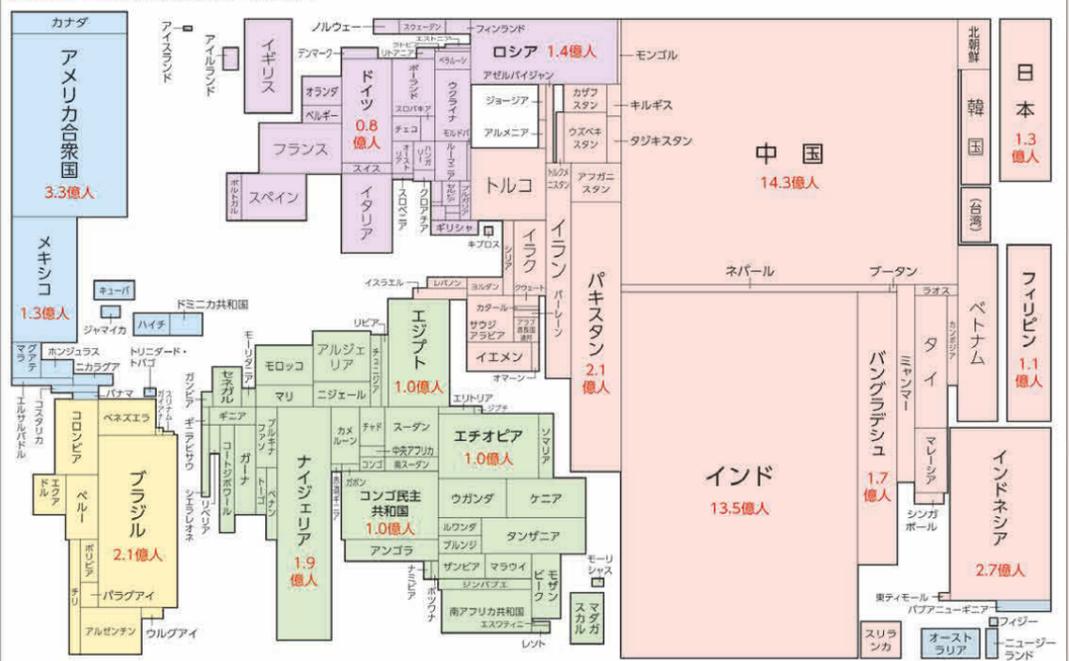
教科書本文の例 世界の人口増加

21世紀に入り、人口増加は緩やかになりつつあるものの、今世紀後半に世界の人口は100億を超えると推計されている。人口増加率はアフリカや西アジアで高い一方、ヨーロッパや東アジアでは低く、日本や東ヨーロッパ諸国のように人口が減少する国もある。

教科書本文の例 出生率の高い発展途上国

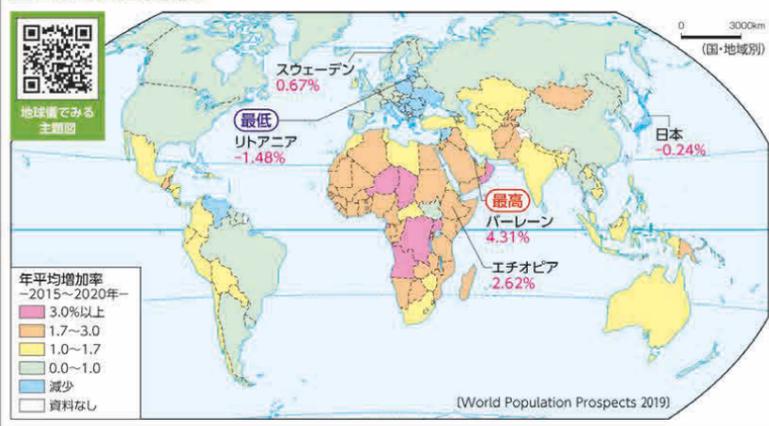
発展途上国、とりわけアフリカ諸国では合計特殊出生率が高く、ニジェールの場合、1人の女性が一生の間に平均して約7人の子を産んでいる。こうした高い出生率の背景には、子を貴重な労働力とする考えが根強く、多くの子が望まれていることがある。

1 人口を面積で表した世界地図



世界の人口を主に2020年 - 2000万人 (Demographic Yearbook 2020, ほか)

4 世界の人口増加率



p.163 「地球的課題②人口問題」

POINT 1
人口の多い国や地域がアジアに偏っていることがわかります。人口問題を考えるための前提となる人口の分布を視覚的にとらえられます。

POINT 2
図1と図4を関連づけて見ると、アフリカの人口増加率が高く、今後、人口分布が変化していくことがイメージできます。

B アフリカの人口問題

アフリカは合計特殊出生率が高い国が多く、児童労働や児童婚が問題になっている国もある。小学校に通えない人の割合が高く、教育水準を上げるための支援が行われている。



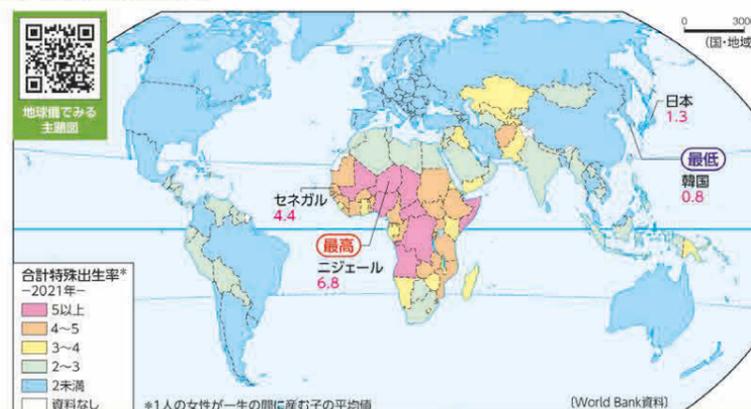
⑤ 子供であふれる街角 (ニジェール)
ニジェールでは、1人の女性が平均して7人の子供を産んでいる。



⑥ 教育を受ける女性たち (セネガル)
10代での出産などによって学校に通えなかった女性への教育支援が行われている。

p.164 「地球的課題②人口問題」

⑤ 世界の合計特殊出生率



⑥ 世界の児童労働 - 2020年 -



手がかり 出生率の高さと児童労働
アフリカやアジアの発展途上国では、第1次産業就業者の割合が比較的高く、子供を労働力と考える地域もある。そのため、合計特殊出生率が高い。幼い頃から労働により教育の機会が奪われ、貧困から抜け出せない人もいます。

POINT 3
日本や韓国など合計特殊出生率が低い国が多いなか、アフリカには出生率の高い国が多いことがわかります。

POINT 4
さらに、児童労働者数の半数以上がアフリカに集中し、その多くが農林水産業に従事していることがわかります。高い出生率の背景に、子供を労働力とする考えがあることを理解できます。

▶ <自然環境と防災>日本の気候と気象災害

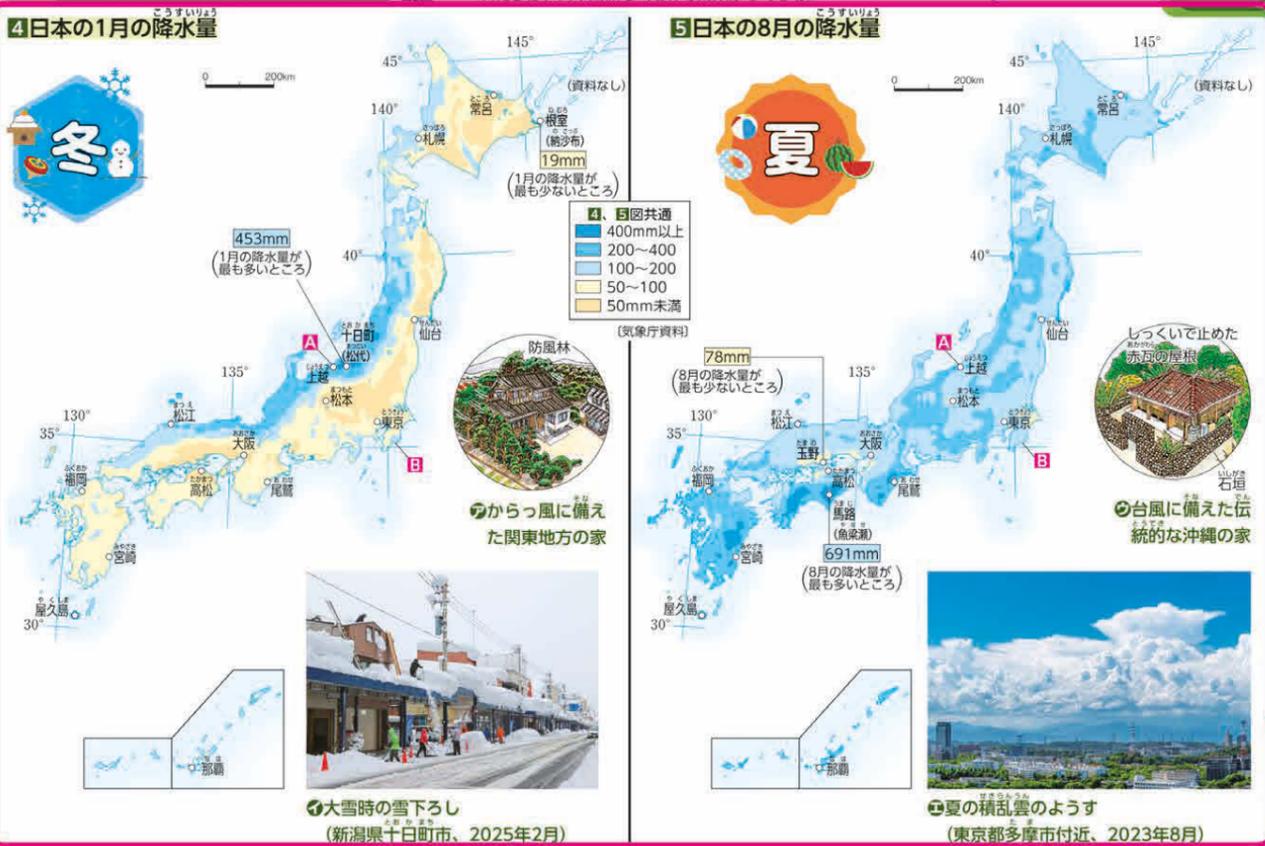
教科書本文の例 日本の気候

日本がユーラシア大陸の東側に位置する島国であり、**季節風(モンスーン)**の影響を受けて、季節の変化(四季)が明確なためである。日本列島は南北に長く、主に**亜寒帯(冷帯)**から**亜熱帯**までの気候がみられるため、**同じ季節でも地域によって気温や降水量に差がある。**

教科書本文の例 集中豪雨の被災地と防災への取り組み

集中豪雨による災害は、毎年のように各地で発生している。(中略)広島市でも、2014年に土砂災害が発生した地域などに砂防ダムが新たに建設された。**大きな被害が出た地域では、災害の記憶をとどめる伝承碑もつくられている。**

B 日本の冬と夏の降水量 144



▲p.144 「自然環境と防災③日本の気候と気象災害」

C さまざまな気象災害 145



▲p.143 「自然環境と防災③日本の気候と気象災害」

POINT 1
降水は冬に日本海側、夏に太平洋側で多く、季節による地域差があることがわかります。

POINT 2
さらに、冬と夏では季節風の風向きが異なり、水分を含んだ季節風が山地にぶつかり、ぶつかった側で降水が多くなることがわかります。

POINT 3
広島市付近の水害の碑がある場所では、2014年や2018年にも土砂災害が発生しており、災害は同じ場所で繰り返し起こりやすいことがわかります。過去の災害の教訓を生かすことが、減災につながることを理解できます。



地図帳の内容理解を助ける 充実のQRコンテンツ

地図帳p.4や各所に配置しているQRコードを読み取ることで、学習内容の理解を深めるさまざまなコンテンツをご利用いただけます。

※QRコードを読み取り、表示されたウェブサイトへアクセスした際には、通信料がかかる場合があります



※ QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です

<https://tks46.jp/09hs/map>

▼ QRコンテンツ トップページ

標準高等地図

地図帳のページから検索 ページ

地図の読み取り方
 世界の鳥瞰図・衛星画像
 世界の資料・SDGs
 地球儀でみる主題図
 日本地図・衛星画像
 日本の資料
 テーマ別リンク集
 地域分析Web
 統計資料
 地図投影法
 「読図」の解答
 防災

スマートフォンからも閲覧可能

帝国書院

地図の読み取り方 全8点

地図の種類についてのアニメーション解説や、読図の練習問題を用意しています。

世界の鳥瞰図・衛星画像 全14点

八つの地域の鳥瞰図と六つの州の衛星画像を収録し、地域の地勢を大観できます。鳥瞰図はイラストや文字要素のある/なしを切り替えられます。

世界の資料・SDGs 全16点

SDGsに関連した16の主題図を収録しています。同縮尺・同図法であるため、タブの切り替えで簡単に比較できます。

地球儀でみる主題図 全12点

12のテーマの主題図をデジタル地球儀上で見られます。過去のデータや国別のデータも確認できます。→詳細は、本資料P.44～45に掲載しています

日本地図・衛星画像 全9点

日本列島の基本図をひと続きにつなげたものを収録しているほか、日本とそのまわりの衛星画像を収録しています。

日本の資料 全9点

日本の自然、人口、産業などに関連した9つの主題図を日本列島ひと続きで確認できます。

テーマ別リンク集 全74点

地理総合の学習に関連する外部サイトへのリンクをテーマごとに収録しています。

地域分析Web 全85テーマ

日本のさまざまな統計を3次元グラフで可視化できるWebGISを収録しています。

統計資料 全161点

世界74項目、日本87項目の最新の統計情報を収録しています。並べ替えや、円グラフ・地図表示も可能です。

順位	国名	単位	値
1	アゼルバイジャン	1,837,188	
2	アフガニスタン	3,900,000	
3	アラブ首長国連邦	0	
4	アルメニア	97,000	
5	イエメン	125,000	
6	イスラエル	150,000	
7	イラク	4,233,714	
8	イラン	10,093,579	
9	インド	109,590,000	
世界		770,877,073	(1)

地図投影法 全14点

投影法ごとに、地図表現の違いを確認でき、比較することもできます。

「読図」の解答

地図帳の各ページにある「読図」の解答・ワンポイント解説を確認できます。

防災 全11点

防災に関するさまざまな外部サイトへのリンクを収録しています。

特色①

特色②

特色③

特色④

地図帳活用例

QRコンテンツ

関連教材

地図帳の内容理解を助ける充実の QRコンテンツ

▶ 地球儀でみる主題図



『標準高等地図』に掲載している12のテーマの主題図をデジタル地球儀上でみられるコンテンツです。
※QRコードを読み取り、表示されたウェブサイトへアクセスした際には、通信料がかかる場合があります



※ QRコードは株式会社ソニーエレクトロニクス株式会社の登録商標です

人口増加率

POINT 1

地球儀を画面上で回すことができ、各テーマの主題図を立体的にとらえられます。

凡例

- 3.0% 以上
- 1.7% ~ 3.0%
- 1.0% ~ 1.7%
- 0.0% ~ 1.0%
- 減少
- 資料なし

出典：World Population Prospects 2019

人口増加率

1950-1955年

POINT 3

過去のデータを確認できます。経年変化を地球儀でみることで、地域によって人口増加の時期が異なることをとらえられます。

人口増加率

出典：世界銀行

人口増加率

出典：World Population Prospects 2019

合計特殊出生率

POINT 2

詳しく見たい国をクリックすると、国別データを確認できます。インドの人口増加率は減少しながらも1.0%以上を維持しており、人口増加が続いていることが読み取れます。

●収録テーマと地図帳ページの対応一覧

「地球儀でみる主題図」テーマ	地図帳ページ	地図帳タイトル
実質経済成長率	p.147-①	世界の地域経済統合
1人あたり国民総所得	p.149-①	世界の貿易と経済圏
インターネット利用率	p.152-③	インターネットの普及
貧困率	p.161-①	地球的課題と取り組み
識字率	p.162-②	教育の格差
人口増加率	p.163-①	偏る世界の人口
合計特殊出生率	p.164-②	アフリカの人口問題
穀物自給率	p.165-①	世界の食料問題
栄養不足人口割合	p.165-①	世界の食料問題
都市人口率	p.167-①	都市の人口集中
1人あたりエネルギー消費量	p.170-②	世界のエネルギー消費と発電
1人あたり二酸化炭素排出量	p.172-②	地球温暖化の問題

POINT 4

12のテーマの主題図は、地理総合の「結びつく現代世界」や「地球的課題」単元の内容に対応しています。

指導資料のご案内

※内容は一部変更になる可能性があります

指導資料Webサポートコンテンツ付

① 指導と研究	● 地図帳各見開きの縮刷版を中心に置き、その周りに地図帳を使った学習活動例などを掲載しています。
② 付録 白地図ワーク	● 地図帳に連動した基礎的な白地図作業のワークシート集です。
③ 指導書 Web サポート	● 授業をサポートするコンテンツを多数収録しています。 ● 帝国書院のウェブ会員ページよりお使いいただけます。 ■ 地図帳紙面ビューア ■ 一般図・主題図カラー画像集(.jpg) ■ 白地図ワーク(問題・解答)(.pdf) ■ アクセスWebGISへのリンク ■ アクセスWebGISワークシート(.pdf) ■ GIS主題図クリエイター(体験版)へのリンク(クーポンを登録してから半年間利用可能) ■ 地球儀でみる主題図へのリンク
④ 指導書 Web サポート等案内冊子	● 指導書WebサポートのコンテンツとGIS主題図クリエイターの使い方を紹介しています。

定価：2026年9月中旬公開予定

指導と研究

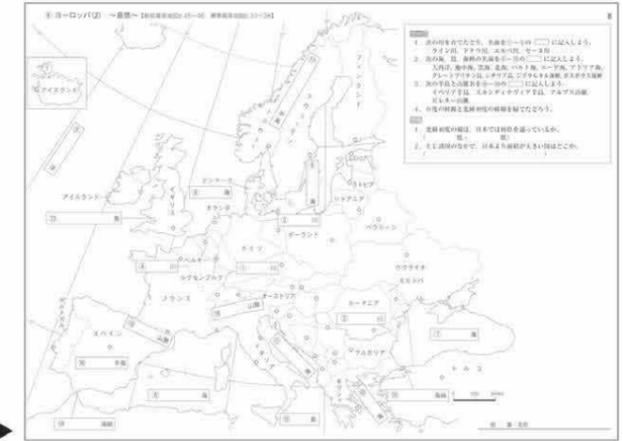
▶ 地図帳各見開きの縮刷版を掲載し、その周りに地図帳を使った学習活動例を示しているほか、地名の解説や「読図」の解説などを配置しています。1冊で地図帳を活用した学習の要点が押さえられます。



◀「指導と研究」のイメージ

付録 白地図ワーク

▶ 世界と日本の各地域の白地図ワークを収録しており、基礎的な知識を身につけられます。指導書WebサポートにはPDFファイルも収録しています。



「白地図ワーク」のイメージ▶

指導書Webサポート 地図帳紙面ビューア

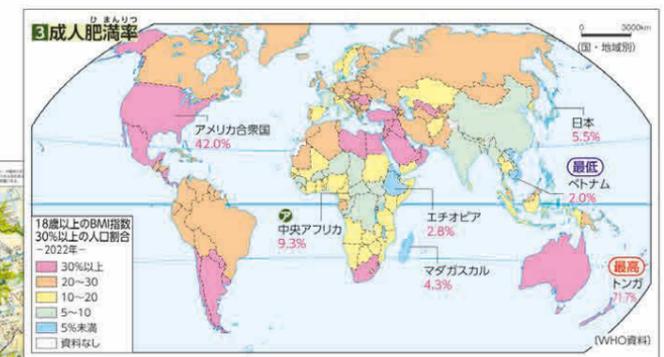
▶ 地図帳紙面を先生方の端末でご覧いただけるビューアです。
▶ スクリーンなどへの投影、紙面の拡大・縮小、ペン機能による書き込みが可能です。
※ダウンロードはできません



「地図帳紙面ビューア」のイメージ▶

指導書Webサポート 一般図・主題図カラー画像集(.jpg)

▶ 地図帳紙面や、主な図版のカラー画像データを収録しています。ダウンロードしてお使いいただけます。



▲主題図の画像データイメージ

◀一般図の画像データイメージ



特色一覧

項目	特色
総合的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・A4判の大きく見やすい紙面に、一般図(基本図・拡大図など)や鳥瞰図、主題図が用意されており、生徒の興味・関心を高めながら、世界・日本各地の地域的特色をとらえられる構成になっている。 ・地理総合の学習単元に対応したテーマ別主題図を豊富に掲載し、地図の読み解きを促す「読図」と合わせて、地理的事象を主体的に考えられる構成になっている。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な地図・資料に加え、世界の注目が集まる地域の拡大図が豊富に掲載されているため、世界・日本の諸地域に関する幅広い知識と教養が身につく。 ・A4判の大きな紙面を生かしたダイナミックな地図で、世界・日本の各地域が取り上げられている。また、数多くの都市図が掲載されており、世界と日本の都市の様子が理解できる。 ・地理総合の学習内容に対応した主題図が豊富に掲載されており、世界の地形や気候、農業や工業、人々の暮らしの様子が理解できる。 ・日本の領土とその広がりが正しく学べる地図・資料が掲載されている。
構成・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・地図を前半に、主題図を後半にまとめた二部構成になっている。 ・地理歴史科・公民科の学習上必要な一般図(基本図・拡大図など)・主題図・統計資料がバランスよく掲載されている。 ・「アジア・ヨーロッパ・北アメリカ」、「アフリカ」、「ヨーロッパ」の3か所に行政区分図を設け、国名や国の位置関係がとらえやすくなるよう配慮されている。 ・東アジア・ヨーロッパ・北アメリカなど世界の全8地域には、立体的に地形をとらえられる鳥瞰図「〇〇を眺めてみよう」を設け、地域の姿をより具体的・視覚的にとらえられるようになっている。また、鳥瞰図のまわりや図中には、生活文化やその背景となる自然環境や歴史、産業などに関するイラストを多数配置し、地域の特徴を概観できるようになっている。 ・主題図を通じて、宗教・言語、農業などの生活文化の多様性を考えるページや、環境問題や食料問題などの地球的課題を考えるページ、自然災害・防災を考えるページを設け、地理的な見方・考え方を働かせながら、実社会でも役立つ資質を養えるようになっている。 ・統計ページでは、世界197か国の正式名称、主要な統計が掲載されている。また、世界の主要な国々とその国旗についての概要が掲載され、国際理解が深められるように配慮されている。
表記・表現及び使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ・世界・日本の地図ページは、標高で配色する等高彩表現が用いられている。地名は過度に盛り込みすぎないように精選され、また、できるだけ大きな文字が使われ、地図が見やすくなるように配慮されている。 ・地図の読み解きを促す「読図」が各所に設けられており、地理的な見方・考え方を働かせながら地図を読み取る力を身につけられるようになっている。 ・一般図には、世界・日本の各地域をとらえる上で重要な地名・事項が、「自然」、「産業」、「歴史」、「社会」の4つに分類して解説された「地名解説」が設けられ、地理歴史科・公民科にまたがって活用できるよう配慮されている。 ・世界地図ページでは位置図が設けられ、地球上における当該地図の位置が確認しやすくなっている。 ・主題図ページには、テーマや地図の見方を示した「ポイント」や「手がかり」、各テーマを自分ごととして関心を高められる「身近事例」が設けられている。
ユニバーサルデザインへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の国名や日本の都道府県名は、白色で縁取りをしたり、ユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を使用したりするなど、判読しやすいように工夫されている。 ・色覚に特性をもつ生徒でも色を判別して地図が読めるように色彩表現が工夫されている。判別しにくい色彩が隣り合う場合には、凡例に模様(地紋)が入れられるなど、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地図帳全体を通して、QRコンテンツを充実させ、個別最適な学びに対応できるようになっている。 ・読み取りやすい地図にするため、緑の発色がよいクサ色の特殊インキを加えた5色で印刷されている。 ・紙は反射を抑えつつ鮮明に発色し、裏写りしない軽量なものが使用されているため、地図・写真が美しく鮮明に表現されている。 ・長期の使用に耐えうるよう、糸かがりしたうえで糊付けされた堅牢な製本になっている。 ・環境に配慮された用紙と植物油インキが使用されている。

著作関係者

※所属・肩書は令和8(2026)年3月時点のもの

著作者

五十嵐 和也 (成蹊中学・高等学校教諭)
 池上 彰 (名城大学教授)
 岩見 和行 (神奈川県立湘南高等学校教諭)
 金田 亜妃子 (東京都立国立高等学校主任教諭)
 木場 篤 (ノートルダム清心中学・高等学校教諭)
 清水 克志 (筑波大学准教授)

志村 喬 (上越教育大学教授)
 鈴木 康弘 (名古屋大学教授)
 原田 智仁 (兵庫教育大学名誉教授)
 宮崎 猛 (創価大学教授)
 矢野 桂司 (立命館大学教授)
 株式会社帝国書院

編集協力者

上野 貴子 (東洋英和女学院中学部・高等部教諭)
 柴田 耕 (大阪府立北摂つばさ高等学校教諭)
 多久島 亮 (関西大学中等部・高等部教諭)
 西尾 和彦 (日本大学豊山高等学校・中学校教諭)
 日置 一哉 (大阪府立高津高等学校教諭)
 待鳥 良治 (あべの翔学高等学校教諭)
 山本 葉月 (東京都立翔陽高等学校主任教諭)